



## **Cisco 3355 Mobility Services Engine スタートアップガイド**

2015 年 7 月

### **シスコシステムズ合同会社**

C〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー  
<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター  
0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00  
<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

Text Part Number:

**【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意  
([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)) をご確認ください。**

本書は、米国シスコシステムズ発行ドキュメントの参考和訳です。  
リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。  
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが導入する TCP ヘッダー圧縮は、カリフォルニア大学バークレー校(UCB)により、UNIX オペレーティング システムの UCB パブリック ドメイン パーティションの一部として開発されたプログラムを適応したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、[www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks) でご確認ください。掲載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワーク トポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco 3355 Mobility Services Engine スタートアップガイド  
© 2015 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



---

**CHAPTER 1****概要 1-1**

このマニュアルについて	1-1
Cisco 3355 Mobility Services Engine	1-1
Cisco 3355 Mobility Services Engine の機能とテクノロジー	1-2
統合管理モジュール	1-2
ライトパス診断	1-2
一般的な警告、規制準拠、および安全性に関する情報	1-3
表記法	1-3
警告	1-3
規制準拠と安全性に関する情報	1-4

---

**CHAPTER 2****設置および初期設定 2-1**

必要なツールと情報	2-2
必要なハードウェア	2-2
CLI コンソールの要件	2-2
システム設定パラメータ	2-2
Cisco 3355 Mobility Services Engine の物理的な場所の選択	2-3
一般的な注意事項	2-3
スペースおよびエアフロー要件	2-3
温度要件	2-4
電力要件	2-4
アース要件	2-5
ラックに関する警告	2-6
Mobility Services Engine の開梱	2-6
梱包内容	2-6
ラックへの Cisco 3355 Mobility Services Engine の取り付け	2-7
ユニバーサルラックマウントキットを使用したラックキャビネットへの Mobility Services Engine の設置	2-7
前面パネルと背面パネル	2-14
前面パネル	2-14
オペレータ情報パネル	2-15
ライトパス診断パネル	2-16
背面パネル	2-20
Cisco 3355 Mobility Services Engine の電源機能	2-24

障害のあるホットスワップ ハード ディスク ドライブの交換	2-25
ホットスワップ AC 電源装置の交換	2-26
ケーブルの接続	2-27
CLI コンソールの接続と使用	2-28
Mobility Services Engine の電源投入	2-28
Mobility Services Engine の設定	2-29
自動インストール スクリプト	2-29
NTP サーバの設定	2-36
Mobility Services Engine の起動	2-36
Mobility Services Engine ソフトウェアの状態の確認	2-36
Mobility Services Engine ソフトウェアの手動停止	2-37
実行中の Mobility Services Engine の手動再起動	2-38
Mobility Services Engine ソフトウェアの更新	2-38
シスコ WCS の使用によるソフトウェアのダウンロード	2-38
ソフトウェアの手動ダウンロード	2-40
失われたルート パスワードの回復	2-41

## APPENDIX A

## 安全上の考慮事項および翻訳版の安全上の警告 A-1

安全上の考慮事項	A-2
警告の定義	A-2
複数の電源装置	A-5
設置手順	A-7
アース線に関する警告	A-9
ラック マウントおよびラックでの作業時のシャーシに関する警告	A-11
装置の設置についての警告	A-20
バッテリーの取り扱い	A-23
製品の廃棄処分	A-25
電源ケーブルおよび AC アダプタ	A-27

## APPENDIX B

## 規制情報 B-1

Cisco 3355 シリーズ Mobility Services Engine に関する FCC 規定について	B-1
EU Directive 1999/5/EC (R&TTE Directive) に関する準拠宣言	B-1
ステートメント 191:VCCI 準拠クラス A 警告(日本)	B-2



# CHAPTER 1

## 概要

---

### このマニュアルについて

このマニュアルでは、Cisco 3355 Mobility Services Engine を物理的に設置し、電源を投入する手順を段階的に説明します。

自動インストール スクリプトの実行に関する詳細と、そのインストール スクリプトに必要な情報についても記載されています。

設置と電源投入の完了後は、Cisco 3355 Mobility Services Engine の追加情報について次の資料を参照してください。

- ソフトウェア設定情報の詳細については、適切なモビリティ サービス コンフィギュレーション ガイドを参照してください。
- 機能のサポートと互換性情報の詳細については、Cisco 3300 シリーズ Mobility Services Engine の最新のリリース ノートを参照してください。

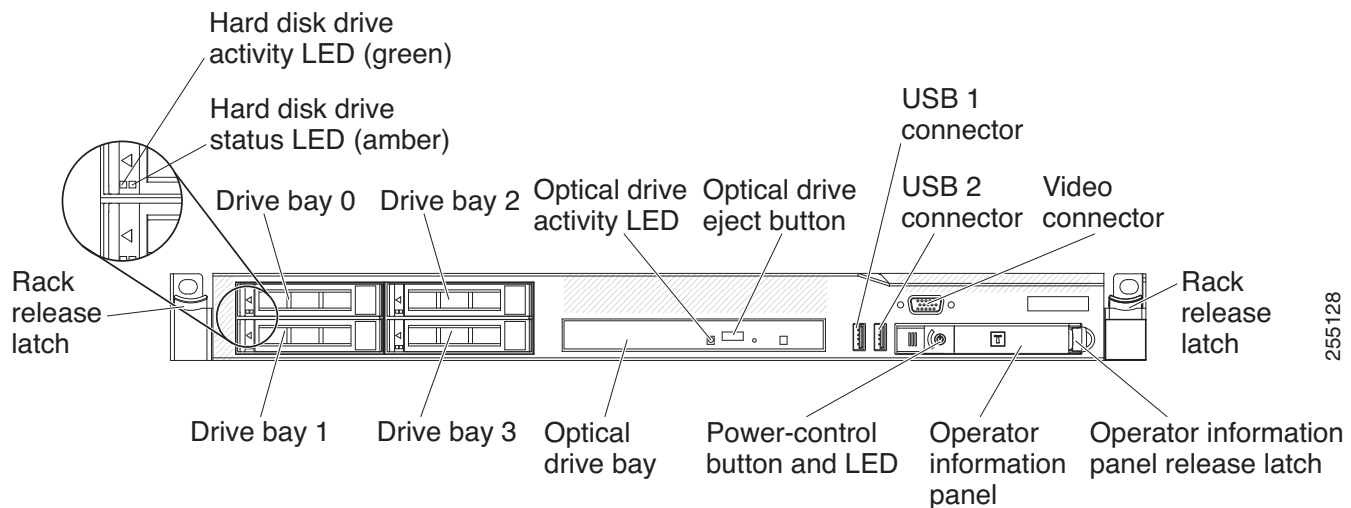
これらのマニュアルは Cisco.com から入手できます。これらのドキュメントにアクセスする手順は、次のとおりです。

- 
- ステップ 1** <http://www.cisco.com> を表示します。
  - ステップ 2** [Support] をクリックします。新しいウィンドウが表示されます。
  - ステップ 3** [Find Product Support] の下の [Wireless] をクリックします。[Select Your Product] または [Technology] ページが表示されます。
  - ステップ 4** [Find] フィールドに **Cisco 3300** と入力し、[Find] をクリックします。
  - ステップ 5** [Cisco 3300 Series Mobility Services Engine] リンクをクリックします。[Cisco 3300 Series Mobility Services Engine Introduction] ページが表示されます。
  - ステップ 6** 表示またはダウンロードするマニュアルに対応するリンクを選択します。
- 

## Cisco 3355 Mobility Services Engine

このスタートアップ ガイドには、Cisco 3355 Mobility Services Engine の設定に関する情報と手順、および Mobility Services Engine (MSE) のケーブル接続と設定の手順が記載されています。診断およびトラブルシューティング情報については、[表 2-1 \(2-18 ページ\)](#) および [表 2-2 \(2-23 ページ\)](#) の診断およびトラブルシューティングの表を参照してください。

図 1-1 Cisco 3355 Mobility Services Engine



## Cisco 3355 Mobility Services Engine の機能とテクノロジー

ここでは、Cisco 3355 Mobility Services Engine の機能とテクノロジーについて説明します。

### 統合管理モジュール

統合管理モジュール (IMM) は、サービスプロセッサの機能を組み合わせたものです。IMM は、高度なサービスプロセッサ制御、モニタリング、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えた場合、またはシステムコンポーネントに障害が発生した場合、IMM は LED を点灯して問題の診断を助け、イベントログのエラーの記録および問題のアラートを行います。IMM は、次の業界標準のインターフェイスを使用してリモートサーバ管理を提供します。

- 簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) バージョン 3
- Web ブラウザ

追加情報については、『*Integrated Management Module User Guide*』を参照してください。

### ライトパス診断

ライトパス診断は、問題を診断するのに役立つ LED を提供します。ライトパス診断の詳細については、[ライトパス診断パネル\(2-16 ページ\)](#)を参照してください。

# 一般的な警告、規制準拠、および安全性に関する情報

## 表記法

誤って行うと危険が生じる可能性のある操作については、安全上の警告が記載されています。各警告文に、警告を表す記号が記されています。特定の警告は、それらの警告が適用される項に記載されています。



**警告**

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。各警告の最後に記載されているステートメント番号を基に、装置に付属の安全についての警告を参照してください。ステートメント 1071 これらの注意事項を保管しておいてください。



**注意**

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

## 警告

次の警告は、一般的な警告で、マニュアル全体に適用されます。特定の警告は、それらの警告が適用される項に記載されています。



**警告**

バッテリーが適正に交換されなかった場合、爆発の危険があります。交換用バッテリーは元のバッテリーと同じものか、製造元が推奨する同等のタイプのものを使用してください。使用済みのバッテリーは、製造元が指示する方法に従って処分してください。ステートメント 1015



**警告**

この装置は、アースさせる必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。ステートメント 1024



**警告**

設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。ステートメント 1004



**警告**

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030



**警告**

本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制に従って行ってください。ステートメント 1040

## 規制準拠と安全性に関する情報



(注) Cisco 3355 Mobility Services Engine の翻訳版の安全性に関する情報については、[付録 A](#) を参照してください。



(注) Cisco 3355 Mobility Services Engine の規制に関する情報については、[付録 B](#) を参照してください。





## CHAPTER 2

# 設置および初期設定

この章では、Cisco 3355 Mobility Services Engine の初期の設置および設定方法について説明します。

この章で説明する内容は、次のとおりです。

- [必要なツールと情報 \(2-2 ページ\)](#)
- [Cisco 3355 Mobility Services Engine の物理的な場所の選択 \(2-3 ページ\)](#)
- [Mobility Services Engine の開梱 \(2-6 ページ\)](#)
- [ラックへの Cisco 3355 Mobility Services Engine の取り付け \(2-7 ページ\)](#)
- [前面パネルと背面パネル \(2-14 ページ\)](#)
- [障害のあるホットスワップ ハード ディスク ドライブの交換 \(2-25 ページ\)](#)
- [ホットスワップ AC 電源装置の交換 \(2-26 ページ\)](#)
- [ケーブルの接続 \(2-27 ページ\)](#)
- [CLI コンソールの接続と使用 \(2-28 ページ\)](#)
- [Mobility Services Engine の電源投入 \(2-28 ページ\)](#)
- [Mobility Services Engine の設定 \(2-29 ページ\)](#)
- [NTP サーバの設定 \(2-36 ページ\)](#)
- [Mobility Services Engine の起動 \(2-36 ページ\)](#)
- [Mobility Services Engine ソフトウェアの状態の確認 \(2-36 ページ\)](#)
- [Mobility Services Engine ソフトウェアの手動停止 \(2-37 ページ\)](#)
- [実行中の Mobility Services Engine の手動再起動 \(2-38 ページ\)](#)
- [Mobility Services Engine ソフトウェアの更新 \(2-38 ページ\)](#)
- [失われたルート パスワードの回復 \(2-41 ページ\)](#)



(注)

初期設置以降の設定の詳細については、次の URL にある適切なモビリティ サービス コンフィギュレーション ガイドを参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps9742/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps9742/tsd_products_support_series_home.html)

## 必要なツールと情報

ここでは、Mobility Services Engine の設置とセットアップに必要なハードウェアやその他の情報を示します。

### 必要なハードウェア

米国電子工業会 (EIA) 準拠のラックに Mobility Services Engine を設置するには、次の装置が必要です。

- Mobility Services Engine
- ネットワーク ケーブル
- EIA 標準ラック内の 1 ラック ユニット (RU) の空きスペース
- ラック マウント キット (Cisco 3355 Mobility Services Engine に付属)
- シリアル コンソール ケーブル



(注) この装置をネジ穴ラックに設置する場合は、ネジ穴ラックに合ったネジと、それらのネジに適したドライバまたはトルクスドライバを使用する必要があります。

### CLI コンソールの要件

Mobility Services Engine コンソールに接続するには、次の装置が必要です。

- ラップトップ、デスクトップ、またはパームトップ上の ANSI または VT-100 ターミナルエミュレータ アプリケーション



(注) Mobility Services Engine、シスコ WCS、およびコントローラのリリース間の互換性については、次の URL で入手できる *Cisco 3300 Mobility Services Engine* の最新のリリース ノートを参照してください。[http://www.cisco.com/en/US/products/ps9742/prod\\_release\\_notes\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps9742/prod_release_notes_list.html)

### システム設定パラメータ

次のパラメータをネットワーク管理者から取得します。

- Mobility Services Engine のホスト名
- Mobility Services Engine のブロードキャスト アドレス
- イーサネット 0 (eth0) ポート (Mobility Services Engine のシャーシ背面のパネルに搭載) の IP アドレス
- eth0 IP アドレスのネット マスク
- eth0 デフォルト ゲートウェイの IP アドレス
- イーサネット 1 (eth1) ポート (Mobility Services Engine のシャーシ背面のパネルに搭載) の IP アドレス (任意)。
- eth1 IP アドレスのネット マスク (eth1 が設定され、イネーブルになっている場合にのみ必要)
- eth1 デフォルト ゲートウェイの IP アドレス (eth1 が設定され、イネーブルになっている場合にのみ必要)



(注)

イーサネット 0 またはイーサネット 1 ポートは、いずれもロケーション更新のシスコ WCS への送信に使用できます。ただし、一般にイーサネット 0 ポートはシスコ WCS との通信用に設定され、イーサネット 1 ポートはアウトオブバンド管理に使用されます。ポートは両方とも、「[Mobility Services Engine の設定](#)」セクション(2-29 ページ)に記載されているインストール スクリプトの一部として設定されます。また、特にトラフィックの多いネットワークの場合は、イーサネット 0 を Wireless LAN Controller との通信専用で使用し、イーサネット 1 を WCS および他のアプリケーションとの通信用に使用することがあります。

## Cisco 3355 Mobility Services Engine の物理的な場所の選択

最大限の安全性と確実性を確保するため、次のガイドラインに従って Mobility Services Engine を取り付けてください。

### 一般的な注意事項

怪我や Mobility Services Engine の破損を防止するため、次の点に注意してください。

- 製品は、ラジエータ、ヒート レジスタ、ストーブ、アンプ、またはその他の熱を発生する製品から離れた場所に配置してください。
- 湿気の多い場所では、製品を使用しないでください。
- 製品の開口部から異物を入れないでください。
- 感電による怪我を防止するため、製品のラックを開けないでください。

### レーザー デバイス

レーザー デバイスは、Mobility Services Engine の DVD 内で使用されます。お客様のサイトでの DVD の使用法は定義されていません。

危険な放射線の被爆リスクを軽減するために、次に従ってください。

- レーザー デバイスのラックを開けようとししないでください。ユーザが保守できるコンポーネントは収納されていません。
- レーザー デバイスに対して、ここに指定されている以外の制御、調整、および手順を行わないでください。
- レーザー デバイスを修理できるのは、シスコ認定のサービス技術者だけです。

### スペースおよびエアフロー要件

EIA 標準ラックに Mobility Services Engine を設置します。Mobility Services Engine ごとに 1 ラックユニットが必要です。

Mobility Services Engine およびすべてのケーブルに手が届くことを確認します。

- Mobility Services Engine が、10/100/1000BASE-T ポートに接続している装置から 100 m (328 フィート) 相当の距離の範囲内にあることを確認します。
- 電源コードが、アースされている 110 または 220 VAC のコンセントに届くことを確認します。

Mobility Services Engine の後ろ側にすべてのケーブルおよびコネクタが収まる十分なスペースがあることを確認します。

- ラックの前側に 63.5 cm (25 インチ) 以上の空間を確保します。
- ラックの後ろ側に 76.2 cm (30 インチ) 以上の空間を確保します。
- ラックの背面から、別のラックまたはラックの列の背面まで、121.9 cm (48 インチ) 以上の空間を確保します。



**注意**

不十分な冷却や装置の損傷を防止するため、通気口を塞がないでください。



**注意**

ラック内の縦の空きスペースを埋めるため、必ずブランク パネルを使用します。これにより、適切なエアフローを確保できます。ブランク パネルなしでラックを使用すると、冷却が不十分になり、温熱損傷を引き起こすおそれがあります。



**注意**

使用するラックを選択するときは、十分なエアフローを確保し、装置の損傷を防止するため、次の追加要件に従ってください。(1) 前面扉と背面扉: 42U ラックに閉鎖型の前面扉および背面扉が付いている場合は、十分なエアフローを確保するために、上部から下部にわたって合計 5,350 平方 cm (830 平方インチ) 分の穴を均一に配置する必要があります (換気のために必要な開口率 64 % に相当)。(2) 側面: 設置したラック コンポーネントとラックのサイド パネルの間は、7 cm (2.75 インチ) 以上空けてください。

## 温度要件

装置が安全で正常に動作するように、通気がよく温度管理の行き届いた場所にシステムを設置または配置してください。

装置をラックに設置した場合の温度上昇を考慮に入れて、動作温度が 10 ~ 35 °C (50 ~ 95 °F) であることを確認してください。



**注意**

他社製オプションを設置する場合は、装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。(1) オプションの装置によって、Mobility Services Engine のエアフローを妨げたり、ラック内部の温度が最大値を超えたりしないようにしてください。(2) メーカーが定めた最大推奨周囲温度 (TMRA) を超えないようにしてください。

## 電力要件

この装置は、情報テクノロジー装置の設置について規定した、ご使用の地域の電気規格に従って資格のある電気技師が設置する必要があります。この装置は、NFPA 70、1999 Edition (National Electric Code)、および NFPA-75、1992 (Code for Protection of Electronic Computer/Data Processing Equipment) で規定されているシステム構成で動作するように設計されています。オプションの電気定格については、製品の定格ラベルまたはそのオプションに付属のユーザ マニュアルを参照してください。

**注意**

Mobility Services Engine を不安定な電源および一時的な停電から保護するために、規定の無停電電源装置 (UPS) を使用してください。UPS は、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもシステムが動作を継続できるようにします。

複数の Mobility Services Engine を設置すると、すべてのデバイスに安全に電力を供給するために追加の配電デバイス (PDU) が必要になる場合があります。次のガイドラインに従ってください。

- 使用可能な AC 電源の分岐回路間で、Mobility Services Engine の電力負荷のバランスを取る必要があります。
- システムの AC 電流全体の負荷が、分岐回路 AC 定格電流の 80 % を超えないように注意してください。
- この装置に共通の電源出力ストリップを使用しないでください。
- Mobility Services Engine 用の独立した電気回路を用意してください。

## Mobility Services Engine の電源装置

Mobility Services Engine には電源装置が 2 台搭載されています。

**警告**

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。すべての接続を取り外し、装置の電源を遮断する必要があります。ステートメント 1028

**注意**

Mobility Services Engine に接続された外部電源が、電気定格ラベルに示されている電源のタイプと一致することを確認します。必要な電源の種類が不明な場合は、シスコ認定リセラーまたは現地の電力会社にお問い合わせください。

## バッテリー

Mobility Services Engine には、過塩素酸塩が含まれているリアルタイム クロック バッテリーまたはコイン セルバッテリーが搭載されている可能性があり、カリフォルニア州でリサイクルまたは廃棄処分にするときは特別な取り扱いが必要になる場合があります。

廃棄処分の情報については、次のリンクを参照してください。

<http://www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate>

**注意**

バッテリーを一般の家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。バッテリーのリサイクルには、公共の回収システムを使用してください。

## アース要件

Mobility Services Engine は、正常な動作と安全を確保するため、適切にアースする必要があります。米国では、NFPA 70、1999 Edition (National Electric Code)、Article 250 のほか、地域の建築基準法に従って装置を設置する必要があります。カナダでは、カナダ規格協会の CSA C22.1、Canadian Electrical Code に従って装置を設置する必要があります。その他のすべての国では、国際電気標準会議 (IEC) Code 364、Part 1 ~ 7 など、地域または国内の電気配線規制に従って装置を設置する必要があります。

さらに、設置に使用する分岐配線やコンセントなどのすべての配電デバイスが、記載された、または認証されたアースタイプ デバイスであることを確認してください。同一電源に複数のシステムを接続すると、高い漏れ電流が発生するため、シスコでは、建物の分岐回路に恒久的に配線されている PDU、または工業用プラグに配線される切り離し不可能なコードが装着された PDU を使用することを推奨しています。NEMA ロック式プラグや、IEC 60309 に準拠したプラグは、この目的に適合していると見なされます。Mobility Services Engine に共通の電源出力ストリップの使用は推奨されません。

## ラックに関する警告



警告

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。次のガイドラインは、安全に作業を行ってもらうために用意してあります。(1) ユニットは、ラックに1つだけの場合は、一番下に搭載するようにしてください。(2) ラックに複数の装置を設置する場合は、最も重い装置を一番下に設置して、下から順番に取り付けます。(3) ラックにスタビライザが付いている場合は、まずスタビライザを取り付けてから、ユニットの設置や保守を行ってください。ステートメント 1006



注意

ラックを荷降ろしするときは、怪我や装置の破損を防止するため、2人以上で安全にパレットからラックを降ろす必要があります。



注意

破損防止のため、水分や過度の湿気が Mobility Services Engine に入り込まないようにしてください。

## Mobility Services Engine の開梱

Mobility Services Engine を開梱するには、次の手順に従います。

- ステップ 1 梱包箱を開いて、中味を慎重に取り出します。
- ステップ 2 梱包資材をすべて箱に戻して保管しておきます。
- ステップ 3 「梱包内容」の項に記載されているすべての品目が揃っていることを確認します。
- ステップ 4 各品目に破損がないことを確認します。内容物が破損または不足している場合は、シスコの営業担当者にご連絡ください。

## 梱包内容

各 Mobility Services Engine パッケージには次のアイテムが含まれています。

- Cisco 3355 Mobility Services Engine X 1
- ラック マウント キット X 1
- 電源コード X 2
- 『Cisco 3355 Mobility Services Engine スタートアップガイド』(このマニュアル)

# ラックへの Cisco 3355 Mobility Services Engine の取り付け

**警告**

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030

**注意**

Mobility Services Engine は重量があります(35 ポンド、15.9 kg)。

怪我や装置の破損を防止するため、次の点に注意してください。

- 資材の取り扱いについては、地域の職業安全衛生要件およびガイドラインに従ってください。
- 設置や取り外しの際に Mobility Services Engine を持ち上げ、安定させるために手助けを受けることが推奨されます(特にシステムがレールに固定されていないとき)。
- Mobility Services Engine のラックへの設置やラックからの取り外しは、慎重に行ってください。レールに固定されていないと、装置は不安定になります。
- 必ず、最も重い品目がラックの一番下になるように、ラックの設置を計画してください。最も重い品目を最初に設置して、下から順番に取り付けていきます。

Mobility Services Engine には、四角穴ラック、丸穴ラック、またはネジ穴ラックに取り付けることのできる、ユニバーサルラックマウントキットが付属しています。交換用のユニバーサルラックマウントキットは、シスコに発注できます。交換部品 PID は、AIR-SRVR-URMK= です。

**(注)**

取り付けレールをラックに固定するためのネジ穴用のネジを用意する必要があります。ネジ穴用のネジは、システムに付属していません。

## ユニバーサルラックマウントキットを使用したラックキャビネットへの Mobility Services Engine の設置

安全性とケーブル接続の情報については、ラックキャビネットに付属のマニュアルを参照してください。ラックキャビネットに Mobility Services Engine を設置する前に、次のガイドラインを確認してください。

- 2U サイズ以上のデバイスをラックキャビネットに設置する場合は、必ず2人以上で作業してください。
- 室温が 35 °C (95 °F) より下であることを確認します。
- 通気孔をふさがないでください。通常、15 cm (6 インチ) のスペースで十分なエアフローを確保できます。
- ラックキャビネットに設置した Mobility Services Engine の上部や下部のスペースを空けたままにしないでください。Mobility Services Engine コンポーネントの破損を防止するため、必ずブランクフィルターパネルを取り付けて空いたスペースを覆い、適切に換気されるようにしてください。
- Mobility Services Engine の設置には、穴あき型ドアの付いたラックキャビネットのみを使用してください。
- デバイスの設置は、ラックキャビネットの一番下から始めるように計画してください。
- 最も重いデバイスをラックキャビネットの一番下に設置してください。

## ■ ラックへの Cisco 3355 Mobility Services Engine の取り付け

- 一度に複数のデバイスをラック キャビネットの外側に張り出させないでください。
- 作業しやすいように、設置時はラック ドアとサイド パネルを取り外してください。
- Mobility Services Engine は、正しくアースされたコンセントに接続してください。
- ラック キャビネットに複数のデバイスを設置する場合は、電源コンセントの過負荷が発生しないようにしてください。
- Mobility Services Engine は、次の要件を満たすラックに設置してください。
  - 前面の取り付けフランジから前面扉の内側までの奥行きが 70 mm (2.76 インチ) 以上。



注意

安全な方法で持ち上げてください。



≥ 18 kg (39.7 lb.)



≥ 32 kg (70.5 lb.)



≥ 55 kg (121.2 lb.)



注意

ラックに取り付けたデバイスの上に物を置かないでください。



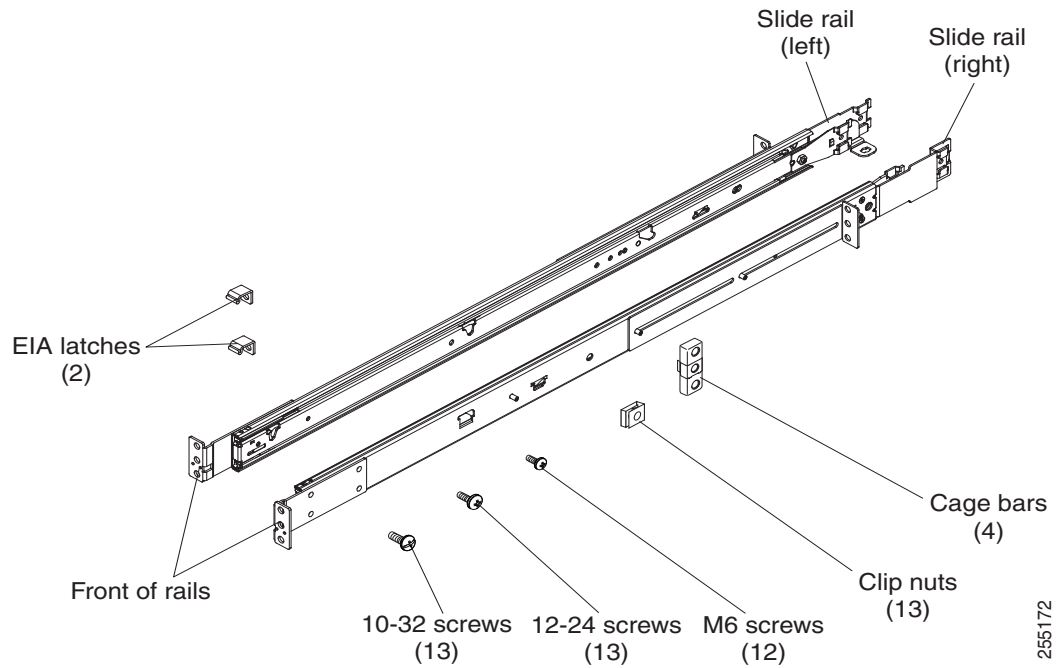
次の図は、Mobility Services Engine をラック キャビネットに設置するために必要な品目を示しています。品目が不足または破損している場合は、購入店にお問い合わせください。



(注)

一部の品目は、ラック取り付けキットではなく、Mobility Services Engine に付属しています。



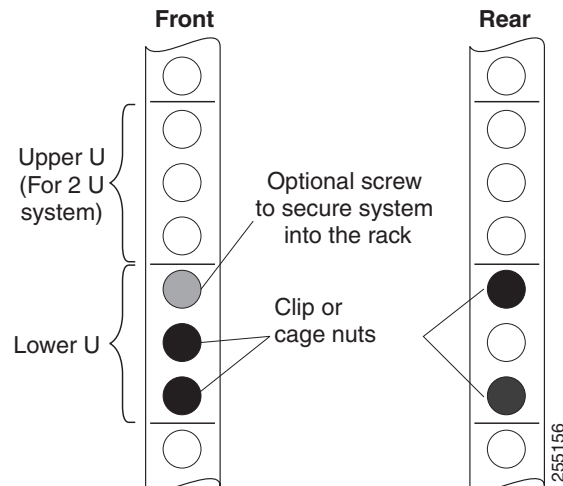


(注) 四角穴のラックにケージバー、丸穴のラックにクリップナット、およびネジ穴のラックには各自で用意するネジ、またはこのキットに付属のネジを使用してください。

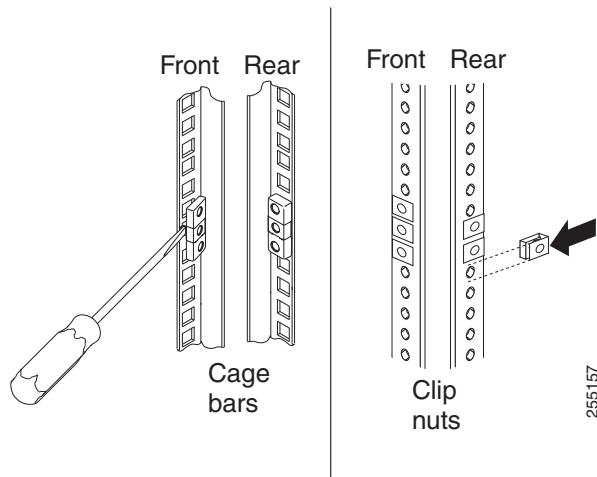


(注) ラック取り付けキットのスライドレールに輸送用取り付けネジが付いていた場合は、それらのネジを外してから次の設置手順に取り掛かってください。

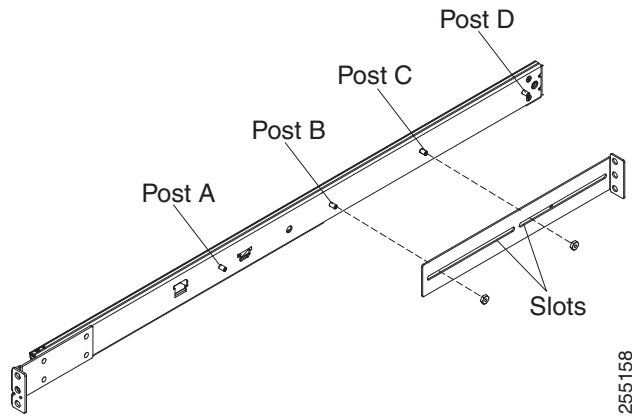
**ステップ 1** 設置する Mobility Services Engine のサイズに応じて、ラックの使用可能なスペースを選択します (1 U または 2 U スペース)。丸穴または四角穴のラックの場合は、ラック前面の両側にある下方の U の中央の穴と一番下の穴 (任意で上の穴) にケージバーまたはクリップナットを取り付けます。次に、ラック背面の両側にある下方の U の上側の穴と一番下の穴にケージバーまたはクリップナットを取り付けます。



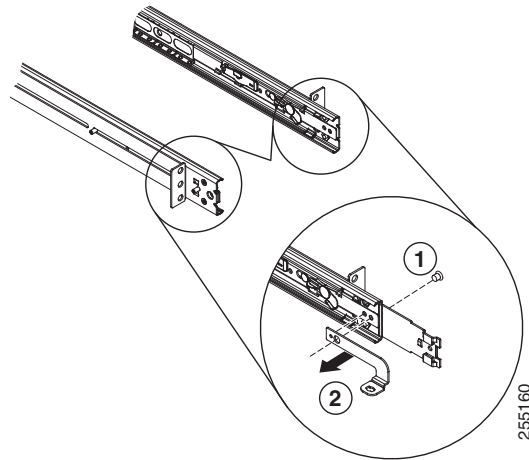
- ステップ 2** ドライバを使用して、取り付けレールの内側の選択した穴にケージバーまたはクリップナット（ラックに応じて）を取り付けます。



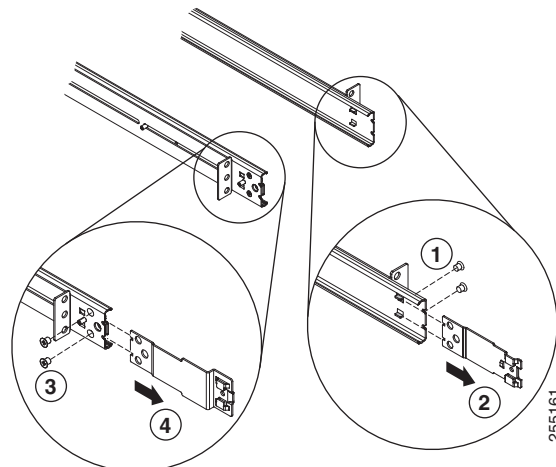
- ステップ 3** レールの奥行きは、17 インチ (432 mm) から 31.25 インチ (794 mm) まで調節できます。奥行きを調節するには、支柱のナットを緩め、前面と背面のスライドレールフランジ間の距離と、ラックキャビネットの前面と背面の EIA レール間の距離が一致するまでブラケットをスライドさせます。さらに調節する必要がある場合は、ナットを取り外し、ブラケットを支柱 (A、B、C、および D) の適切なセットに移動させてから、ナットを再び取り付け、締めます。



- ステップ 4** 支持ブラケットを取り外すには、ネジを外し(1)、スライド レールの背面からブラケットを取り外します(2)。



- ステップ 5** 取り付けブラケットを取り外すには、ネジ(1)と(3)を外します。ブラケット(2)と(4)をスライド レールの後部から引き抜きます。



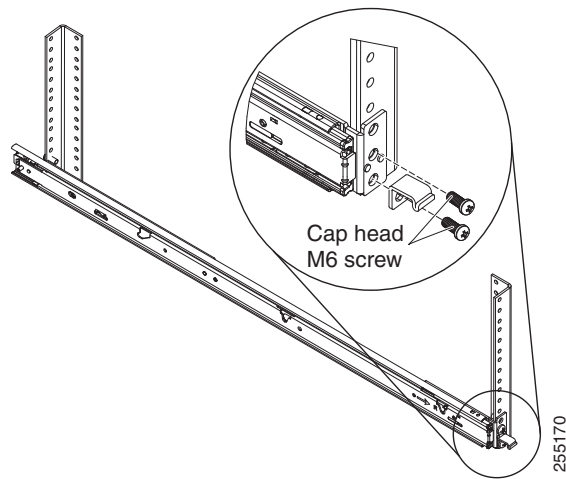
- ステップ 6** 下方の U の下の穴にネジを取り付けて、スライド レールの前部と EIA ラッチをラック キャビネットの前面に接合します。次に、下方の U の中央の穴に別のネジを取り付けて、スライド レールの前部をラック キャビネットの前面に接合します。



- (注) スライドをラックに固定するときは、ネジが付いており、フランジがわずかに動くことを確認してください。ステップ 9 で、ドライバを使用してネジを完全に締めます。

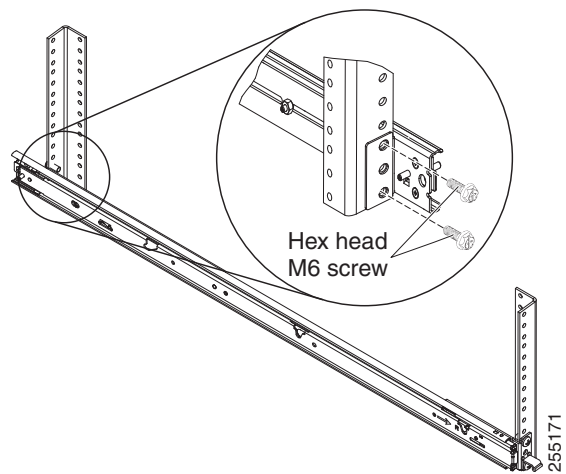


- (注) 丸穴または四角穴(ネジ穴ではない)のあるラックにこのシステムを設置する場合は、前面取り付けブラケットに 12 ~ 24 本のネジ(六角頭 M6 ネジではない)を使用します。

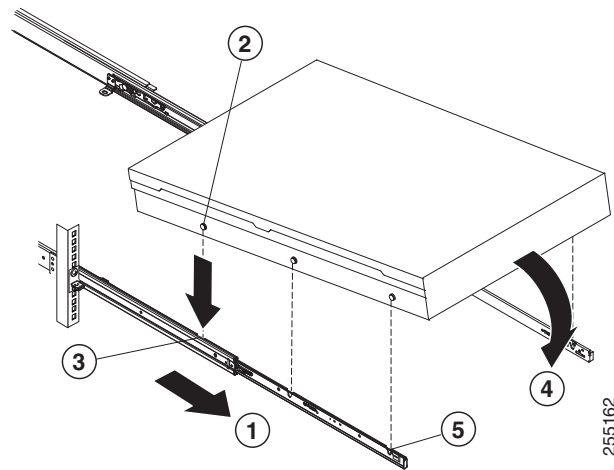


**ステップ 7** 下方の U の上の穴と下の穴で 2 本のネジを使用して、スライド レールの後部をラック キャビネットの背面に接合します。

ステップ 3 からステップ 7 までを繰り返して、残りのスライド レールをラックに取り付けます。

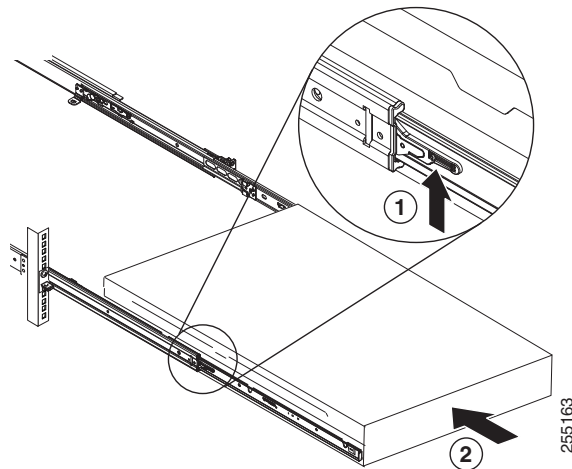


**ステップ 8** 所定の位置にカチッとハマるまで、スライド レールを 2 回前方に引きます(1)。Mobility Services Engine を慎重に持ち上げてから、スライド レール上で所定の位置に合わせて傾け、Mobility Services Engine の後部ネイルヘッド(2)がスライド レールの後部スロット(3)とぴったり合うようにします。後部ネイルヘッドが 2 つの後部スロットにはまるまで Mobility Services Engine をスライドさせてから、残りのネイルヘッドがスライド レールの残りのスロットにはまるまで Mobility Services Engine の前面(4)をゆっくり下ろします。前部ラッチ(5)がネイルヘッド上をスライドすることを確認します。



**ステップ 9** スライドレール上にあるロックレバー(1)を上にかし、Mobility Services Engine (2)をラックの奥へ、カチッと所定の位置にはまるまで押し込みます。

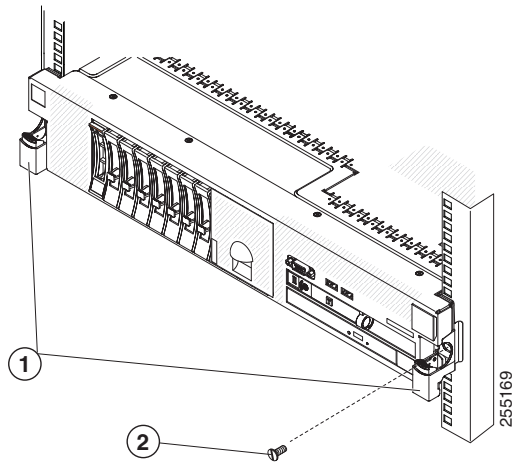
システムを2回押し引きして、適切にスライドすることを確認します。システムはできるだけラックの奥へ押し込みますが、ドライバでネジを扱えるようにしておきます。次に、ドライバでネジを締めます。



**ステップ 10** Mobility Services Engine がカチッと所定の位置にはまるまで、ラックの奥へスライドさせます。Mobility Services Engine をラックから引き出すには、リリースラッチ(1)を押します。



(注) ラックキャビネットを移動するときや、振動ブローブのエリアにラックキャビネットを設置する場合は、Mobility Services Engine の前面にオプションの M6 ネジ(2)を挿入します。



ラックから Mobility Services Engine を取り外すには、これらの手順を逆に行っていきます。この情報は、今後のために、Mobility Services Engine のマニュアルと一緒に保管してください。

## 前面パネルと背面パネル

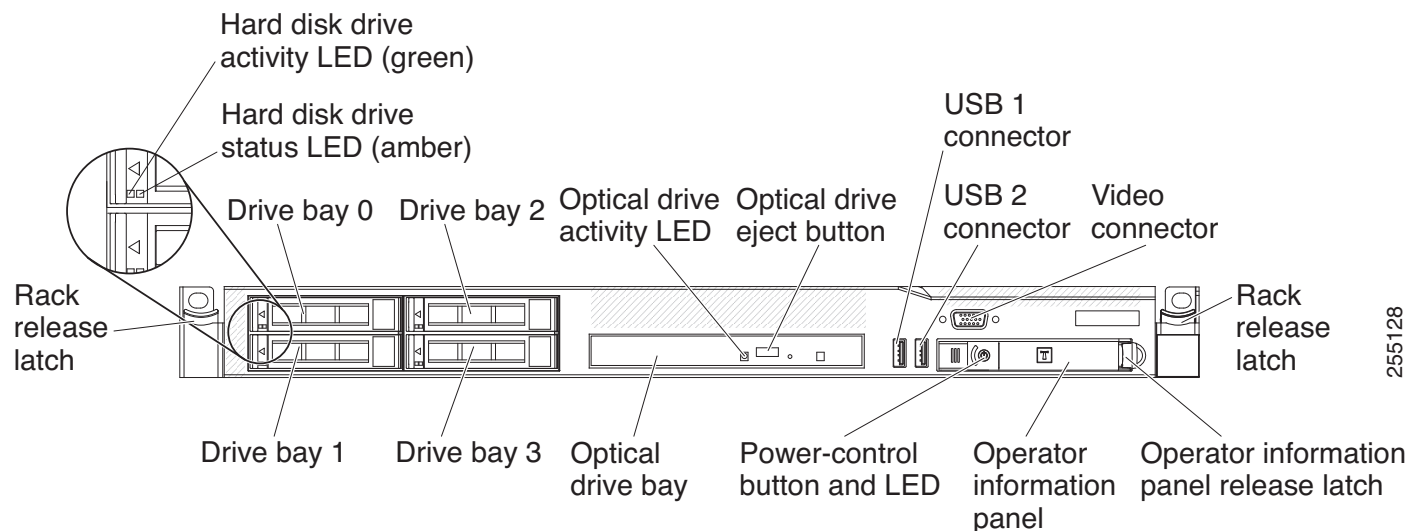
ここでは、コントロールと Light-Emitting Diode (LED) について、および Cisco 3355 Mobility Services Engine のオン/オフを切り替える方法について説明します。

### 前面パネル

図 2-1 に、Cisco 3355 Mobility Services Engine の前面パネルにあるコントロール、LED、およびコネクタを示します。

図 2-2 に、オペレータ情報パネルの詳細なビューを示します。

図 2-1 Cisco 3355 Mobility Services Engine の前面パネル



## 前面パネルのコンポーネント

- **ラック リリース ラッチ:** Mobility Services Engine をラックから取り外すには、Mobility Services Engine の前端両側にあるラッチを押します。
- **ハード ディスク ドライブ ステータス LED:** この LED は、SAS ハード ディスク ドライブのステータスを示すためのものです。この LED が点灯しているときは、ドライブに障害が発生していることを示しています。この LED がゆっくり (1 秒に 1 回) 点滅しているときは、ドライブが再構築中であることを示しています。この LED がすばやく (1 秒に 3 回) 点滅しているときは、コントローラがドライブを識別していることを示しています。
- **ハード ディスク ドライブのアクティビティ LED:** 各ホットスワップ ハード ディスク ドライブにはアクティビティ LED があり、この LED が点滅しているときは、ドライブが使用中であることを示しています。
- **光ドライブ イジェクト ボタン:** DVD ドライブから DVD または CD を取り出すには、このボタンを押します。
- **光ドライブのアクティビティ LED:** この LED が点灯しているときは、DVD ドライブが使用中であることを示しています。
- **オペレータ情報パネル:** このパネルには、Mobility Services Engine のステータスに関する情報を提供するコントロールと LED があります。オペレータ情報パネルのコントロールと LED の詳細については、[オペレータ情報パネル \(2-15 ページ\)](#) を参照してください。
- **オペレータ情報パネル リリース ラッチ:** ライト パス診断パネルを引き出し、ライト パス診断の LED とボタンが見えるようにするには、青色のリリース ラッチを左にスライドさせます。ライト パス診断の詳細については、[ライト パス診断パネル \(2-16 ページ\)](#) を参照してください。
- **ビデオ コネクタ:** このコネクタにモニタを接続します。Mobility Services Engine の前面および背面にあるビデオ コネクタは、同時に使用できます。



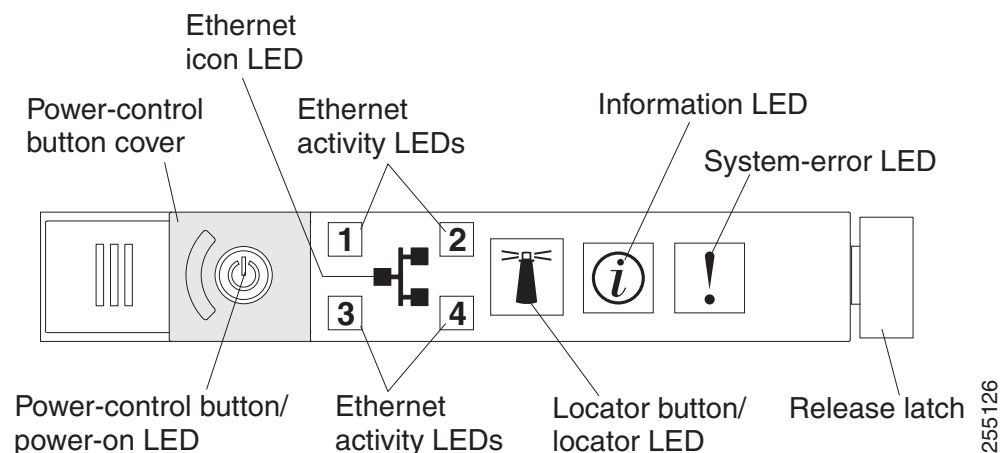
(注) 最大ビデオ解像度は 1600 x 1200、75 Hz です。

- **USB コネクタ:** USB マウスやキーボードなどの USB デバイスをこれらのいずれかのコネクタに接続します。

## オペレータ情報パネル

図 2-2 に、オペレータ情報パネルにあるコントロールと LED の詳細なビューを示します。

図 2-2 Cisco 3355 オペレータ情報パネルの拡大図



## オペレータ情報パネル コンポーネント

- **電源制御ボタンおよび電源オン LED:** Mobility Services Engine を手動でオンやオフにしたり、省電力状態から起動したりするには、このボタンを押します。電源オン LED の状態は次のとおりです。
  - **消灯:** 電力が供給されていないか、電源装置または LED 自体に障害が発生しています。
  - **高速点滅(1 秒に 4 回):** Mobility Services Engine はオフになっており、オンにする準備が整っていません。電源制御ボタンはディセーブルになります。この状態は、約 20 ~ 40 秒間続きます。
  - **低速点滅(1 秒に 1 回):** Mobility Services Engine はオフになっており、オンにする準備が整っています。電源制御ボタンを押すと、Mobility Services Engine がオンになります。
  - **点灯:** Mobility Services Engine がオンになっています。
  - **徐々に退色する点滅:** Mobility Services Engine は省電力状態にあります。Mobility Services Engine を起動するには、電源制御ボタンを押すか、IMM Web インターフェイスを使用します。IMM Web インターフェイスにログインする方法については、『*Integrated Management Module User's Guide*』を参照してください。
- **イーサネット アクティビティ LED:** これらの LED のいずれかが点灯しているときは、Mobility Services Engine が、その LED に対応するイーサネット ポートに接続されたイーサネット LAN との間で信号を送信または受信していることを示しています。
- **システムロケータ ボタン/LED:** 他のサーバ間で Mobility Services Engine の位置を視覚的に特定するには、このブルーの LED を使用します。この LED は、存在検出ボタンとしても使用されます。この LED は、IMM によって制御されます。システムロケータ ボタンを押すと、LED が点滅し、ボタンを再び押してオフにするまで点滅し続けます。他のサーバ間から Mobility Services Engine の位置を視覚的に特定するには、ロケータ ボタンを押します。
- **システム情報 LED:** このオレンジの LED が点灯しているときは、非クリティカル イベントが発生していることを示しています。IMM は、問題の診断および修正に使用できます。
- **システムエラー LED:** このオレンジの LED が点灯しているときは、システム エラーが発生していることを示しています。システムエラー LED は、Mobility Services Engine の背面にもあります。オペレータ情報パネルの上にあるライト パス診断パネルの LED の点灯は、エラーの特定にも役立ちます。この LED は、IMM によって制御されます。

## ライト パス診断パネル

ライト パス診断パネルは、オペレータ情報パネルの上部にあります(図 2-3 を参照)。ライト パス診断パネルの LED の追加情報については、表 2-1 を参照してください。

ライト パス診断パネルを利用するには、オペレータ情報パネルの青色のリリース ボタンを左にスライドさせます。オペレータ パネルのヒンジがシャーシから外れるまで、装置を前方に引き出します。その後、ライト パス診断パネル情報が見えるように、装置を引き下げます。



(注)

Mobility Services Engine からライト パス診断パネルを引き出し、LED またはチェックポイント コードを確認する際は、Mobility Services Engine の外側にライト パス診断パネルを引き出したままで Mobility Services Engine を稼働させないでください。パネルを Mobility Services Engine の外側に出しておく時間は短めにしてください。Mobility Services Engine が適切に冷却されるように稼働しているときは、ライト パス診断パネルを Mobility Services Engine 内に留めておく必要があります。



図 2-3 ライトパス診断パネル

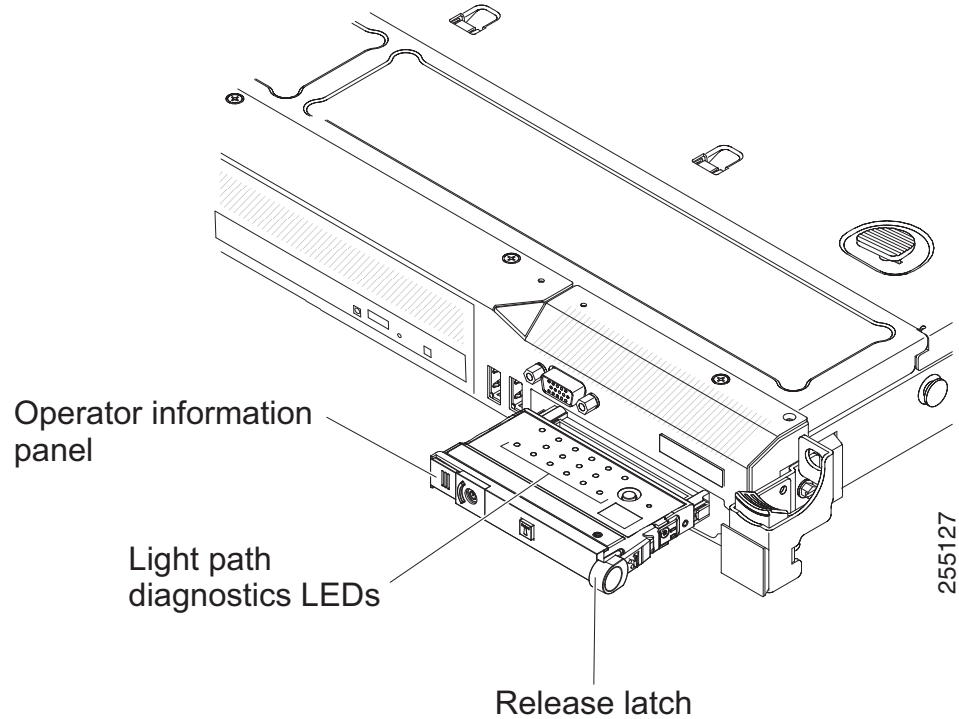
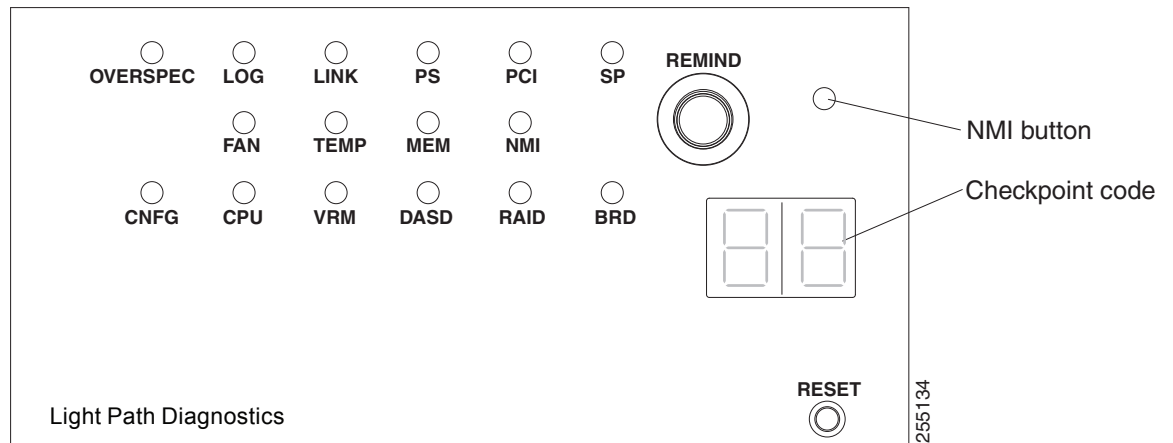


図 2-4 に、ライトパス診断パネル上の LED とコントロールを示します。

図 2-4 ライトパス診断パネルのコンポーネント



## ライトパス診断パネルのコンポーネント

- REMIND ボタン:** このボタンを押すと、前面パネルのシステムエラー LED がリマインドモードになります。リマインドモードでは、問題が修正されるか、Mobility Services Engine が再起動されるか、新しい問題が発生するまで、システムエラー LED が 2 秒に 1 回点滅します。

システムエラー LED インジケータをリマインドモードにすることにより、最後の障害を認識しているものの、問題を修正するための処置をすぐには取らないことを確認します。リマインド機能は IMM によって制御されます。

- **NMI ボタン:** このボタンは、マイクロプロセッサに対するマスク不能割り込みを実施するために使用します。このボタンは現在、Cisco 3355 Mobility Services Engine では使用されていません。このボタンは、Cisco TAC 担当者から指示があった場合のみ押してください。
- **チェックポイント コード ディスプレイ:** このディスプレイには、ブートブロックおよび POST 時にシステムが停止したポイントを示すチェックポイント コードが表示されます。チェックポイント コードは、UEFI によって作成されたバイト値またはワード値です。このディスプレイには、エラー コードも、コンポーネントの交換の提案も表示されません。
- **RESET ボタン:** このボタンを押すと、Mobility Services Engine をリセットし、電源投入時セルフテスト (POST) を実行できます。ボタンを押すには、ペンまたはまっすぐに伸ばしたペーパー クリップの端を使用しなければならない場合があります。RESET ボタンは、ライト パス診断パネルの右下隅にあります。

表 2-1 ライトパス診断パネルの LED

問題が解決されるまで、アクション列に示されている順番のとおり、提案されるアクションを実行してください。

LED	説明	Action
なし。ただし、システムエラー LED が点灯。	エラーが発生していますが、特定できません。エラーはパスで表示されません。	Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。
OVER SPEC	電源が、最大定格よりも多くの電力を使用しています。	Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。
LOG	エラーが発生しました。	IMM のシステム イベント ログおよびシステムエラー ログでエラーに関する情報を確認してから、次の手順を決定します。必要に応じて、Cisco TAC に連絡してください。
LINK	予備。	
PS	電源装置 1 または 2 に障害が発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 点灯しているオレンジの LED に対応する電源装置をチェックしてください(電源装置 LED (2-22 ページ) を参照)。</li> <li>2. 電源装置が正しく取り付けられていることを確認してください。</li> <li>3. 障害の発生した電源装置を特定するには、いずれかの電源装置を取り外します。</li> <li>4. 障害の発生した電源装置を交換してください。</li> </ol>
PCI	PCI バスまたはシステムボード上でエラーが発生しました。エラーの発生している PCI スロットの横で、別の LED も点灯します。	Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。
SP	サービスプロセッサエラーが検出されました。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. システムをシャットダウンし、Mobility Services Engine から電源コードを外します。その後、Mobility Services Engine を電源に接続し直し、再起動します。</li> <li>2. 問題が解決しない場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けてください。</li> </ol>

表 2-1 ライトパス診断パネルのLED (続き)

問題が解決されるまで、アクション列に示されている順番のとおり、提案されるアクションを実行してください。

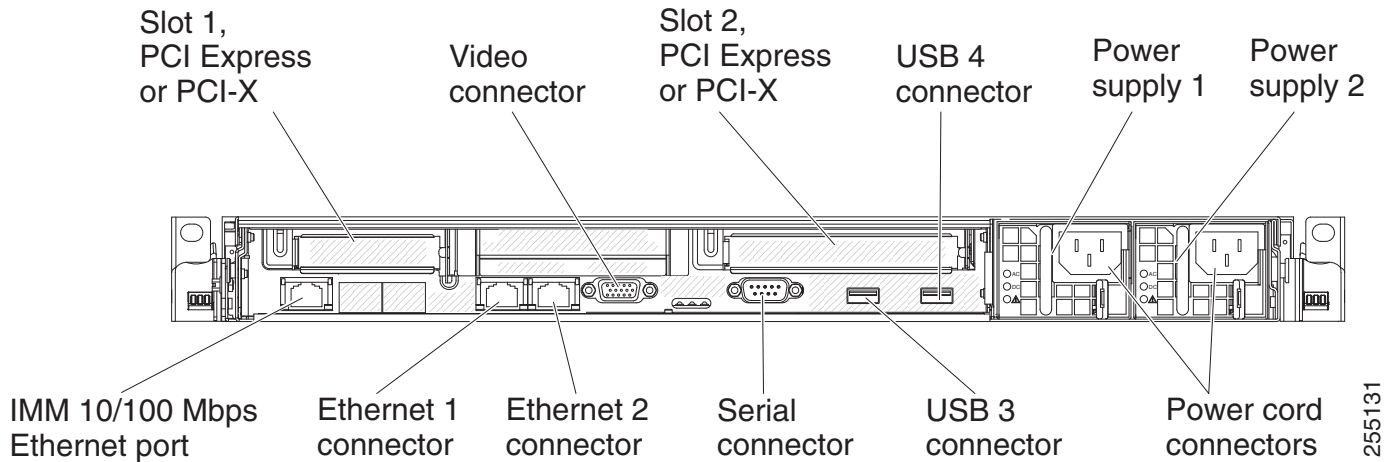
LED	説明	Action
FAN	ファンに障害が発生したか、動作が遅すぎるか、または取り外されています。TEMP LED も点灯する場合があります。	Cisco 3355 Mobility Services Engine の交換と今後のサポートについては、Cisco TAC にお問い合わせください。
TEMP	システム温度がしきい値レベルを超えています。ファンの故障によって、TEMP LED が点灯する場合があります。	Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。
MEM	MEM LED のみが点灯しているときは、メモリエラーが発生しています。MEM LED と CNFG LED が点灯しているときは、メモリ構成が無効であるか、PCIオプションROM がリソース不足です。	Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。
NMI	マスク不能割り込みが発生したか、NMI ボタンが押されました。	エラーの情報については、システムエラーログをチェックしてください。 さらにサポートが必要な場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。
CNFG	ハードウェア構成エラーが発生しました。	Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。
CPU	マイクロプロセッサ構成が無効であるか、マイクロプロセッサに障害が発生しました (CPU LED と CNFG LED の両方が点灯する場合があります)。	Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。
VRM	予備。	
DASD	ハード ディスクドライブに障害が発生したか、欠落しています。	<ol style="list-style-type: none"> <li>ステータス LED が点灯しているドライブに対応するハード ディスクドライブ上の LED を確認して、ハード ディスクドライブを装着しなおします。</li> <li>ドライブを装着しなおしても問題が解決しない場合は、障害のあるハード ディスクドライブを交換する必要があります。Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。</li> </ol>
RAID	予備。	
BRD	システム ボード上でエラーが発生しました。	Cisco TAC に連絡して、サポートを受けてください。

## 背面パネル

図 2-5 に、Cisco 3355 Mobility Services Engine の背面パネルの詳細を示します。

図 2-6 に、Cisco 3355 Mobility Services Engine の背面パネルの LED を示します。

図 2-5 Cisco 3355 Mobility Services Engine の背面パネル



### 背面パネルのコンポーネント

- **PCI スロット 1:** Cisco 3355 Mobility Services Engine ではこのスロットは使用されません。
- **PCI スロット 2:** Cisco 3355 Mobility Services Engine ではこのスロットは使用されません。
- **電源コネクタ:** このコネクタに電源コードを接続します。



(注) 電源装置 1 は、デフォルト/プライマリ電源です。電源装置 1 が故障した場合は、ただちに交換が必要です。

- **ビデオ コネクタ:** このコネクタにモニタを接続します。Mobility Services Engine の前面および背面にあるビデオ コネクタは、同時に使用できます。



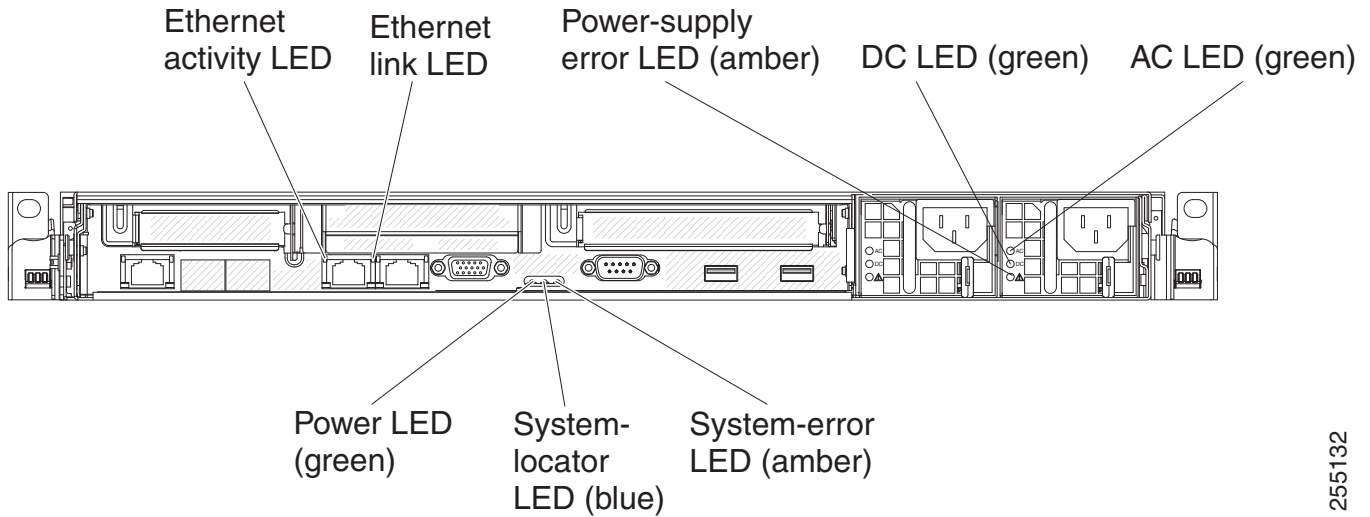
(注) 最大ビデオ解像度は 1600 x 1200、75 Hz です。

- **シリアル コネクタ:** シリアル コンソール ケーブルをこのコネクタに接続します。
- **USB コネクタ:** USB マウスやキーボードなどの USB デバイスをこれらのいずれかのコネクタに接続します。
- **IMM 10/100 Mbps イーサネット ポート:** 専用の管理ネットワークを使用して Mobility Services Engine を管理する場合は、このポートを使用します。このコネクタを使用する場合、IMM に運用中ネットワークから直接アクセスできません。専用管理ネットワークは、運用中ネットワークからの管理ネットワークのトラフィックを物理的に分離することで、追加のセキュリティを提供します。Mobility Services Engine に付属の immconfig スクリプトを使用すると、同エンジンで専用のシステム管理ネットワークまたは共有ネットワークを使用するように設定できます。

- **イーサネット コネクタ:** Mobility Services Engine をネットワークに接続するには、これらのコネクタのいずれかを使用します。イーサネット 1 コネクタを使用すると、単一のネットワーク ケーブルを介して IMM とネットワークを共有できます。IMM の設定に関する補足を参照し、詳細にアクセスしてください。

図 2-6 に、Mobility Services Engine の背面にある LED を示します。

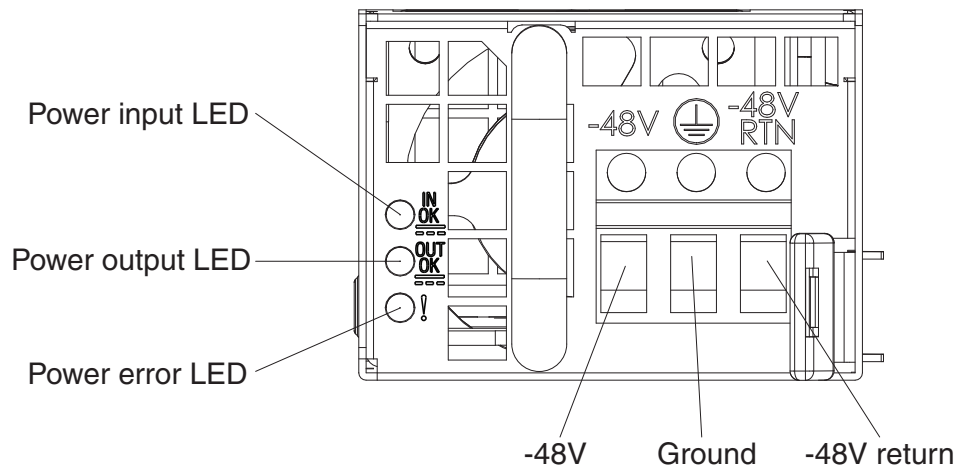
図 2-6 Cisco 3355 Mobility Services Engine の背面パネルの LED



255132

図 2-7 に、DC 電源装置の LED の詳細を示します。

図 2-7 Cisco 3355 Mobility Services Engine の DC 電源装置 LED の拡大図



255133

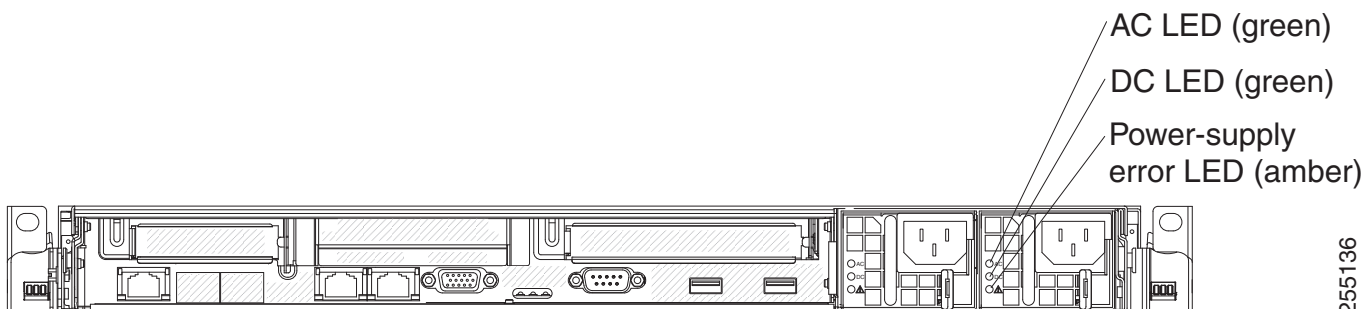
- **イーサネット アクティビティ LED:** これらの LED が点灯しているときは、Mobility Services Engine が、イーサネット ポートに接続されたイーサネット LAN との間で信号を送信または受信していることを示しています。
- **イーサネット リンク LED:** これらの LED が点灯しているときは、イーサネット ポートの 10BASE-T、100BASE-TX、または 1000BASE-TX インターフェイスにアクティブ リンク接続があることを示しています。

- **AC 電源 LED:**各ホットスワップ電源装置には、AC 電源 LED と DC 電源 LED があります。AC 電源 LED が点灯しているときは、電源コードを通じて十分な電力が電源装置に供給されていることを示しています。通常の動作中は、AC 電源 LED と DC 電源 LED の両方が点灯します。
- **IN OK 電源 LED:**各ホットスワップ DC 電源装置には、IN OK 電源 LED と OUT OK 電源 LED があります。IN OK 電源 LED が点灯しているときは、電源コードを通じて十分な電力が電源装置に供給されていることを示しています。通常の動作中は、IN OK 電源 LED と OUT OK 電源 LED の両方が点灯します。
- **DC 電源 LED:**各ホットスワップ電源装置には、DC 電源 LED と AC 電源 LED があります。DC 電源 LED が点灯しているときは、電源装置からシステムに十分な DC 電力が供給されていることを示しています。通常の動作中は、AC 電源 LED と DC 電源 LED の両方が点灯します。
- **OUT OK 電源 LED:**各ホットスワップ DC 電源装置には、IN OK 電源 LED と OUT OK 電源 LED があります。OUT OK 電源 LED が点灯しているときは、電源装置からシステムに十分な DC 電力が供給されていることを示しています。通常の動作中は、IN OK 電源 LED と OUT OK 電源 LED の両方が点灯します。
- **システムエラー LED:**この LED が点灯しているときは、システム エラーが発生していることを示しています。ライト パス診断パネル上の LED の点灯は、エラーの特定にも役立ちます。
- **電源オン LED:**この LED が点滅ではなく、点灯しているときは、Mobility Services Engine がオンになっていることを示しています。電源オン LED の状態は次のとおりです。
  - **消灯:**電力が供給されていないか、電源装置または LED 自体に障害が発生しています。
  - **高速点滅(1 秒に 4 回):**Mobility Services Engine はオフになっており、オンにする準備が整っていません。電源制御ボタンはディセーブルになります。この状態は、約 20 ~ 40 秒間続きます。
  - **低速点滅(1 秒に 1 回):**Mobility Services Engine はオフになっており、オンにする準備が整っています。電源制御ボタンを押すと、Mobility Services Engine がオンになります。
  - **点灯:**Mobility Services Engine がオンになっています。
  - **徐々に退色する点滅:**Mobility Services Engine は省電力状態にあります。Mobility Services Engine を起動するには、電源制御ボタンを押すか、IMM Web インターフェイスを使用します。IMM Web インターフェイスにログインする方法については、『*Integrated Management Module User's Guide*』を参照してください。
- **システムロケータ LED:**他のサーバ間から Mobility Services Engine の位置を視覚的に特定するには、この LED を使用します。この LED をリモートから点灯させる場合は、『*Integrated Management Module User's Guide*』を使用してください。

## 電源装置 LED

図 2-8 に、Cisco 3355 Mobility Services Engine の背面にある電源装置 LED の位置を示します。電源装置の問題解決に関するその他の情報については、表 2-2 を参照してください。

図 2-8 Cisco 3355 Mobility Services Engine の電源装置 LED の位置



255136

表 2-2 では、AC 電源装置にある電源装置 LED のさまざまな組み合わせが示す問題と、検出された問題を修正するために提案されるアクションについて説明します。

表 2-2 Cisco 3355 Mobility Services Engine の AC 電源装置に関するトラブルシューティング

AC 電源装置 LED			説明	Action	注
AC	DC	Error (!)			
点灯	点灯	消灯	通常動作中		
消灯	消灯	消灯	Mobility Services Engine への AC 電源がないか、AC 電源に問題があります。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Mobility Services Engine への AC 電源を確認します。</li> <li>2. 各電源コードが、正常に機能している電源に接続されていることを確認します。</li> <li>3. Mobility Services Engine を再起動します。エラーが解消しない場合は、電源装置 LED を確認してください。</li> <li>4. 電源装置を交換してください。</li> </ol>	AC 電源が存在しない場合、これは正常な状態です。
消灯	消灯	点灯	Mobility Services Engine への AC 電源がないか、AC 電源に問題があり、電源装置で内部問題が検出されました。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各電源コードが、正常に機能している電源に接続されていることを確認します。</li> <li>2. 電源装置を交換してください。</li> </ol>	この問題は、2 台めの電源装置から Mobility Services Engine に給電しているときにのみ発生します。
消灯	点灯	消灯	電源装置に問題があります。	電源装置を交換してください。	
消灯	点灯	点灯	電源装置に問題があります。	電源装置を交換してください。	
点灯	消灯	消灯	電源装置が完全に装着されていないか、システム ボードに問題があるか、または電源装置に問題があります。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源装置を装着し直します。</li> <li>2. このアクションで問題が解決しない場合は、電源装置を交換してください。電源装置を交換してもこの問題が解決しない場合は、Cisco TAC に連絡してサポートを受けてください。</li> </ol>	通常は、電源装置が完全に装着されていないことを示します。
点灯	消灯	点灯	電源装置に問題があります。	電源装置を交換してください。	
点灯	点灯	点灯	電源装置に問題がありますが、まだ動作可能な状態です。	電源装置を交換してください。	

## Cisco 3355 Mobility Services Engine の電源機能

Cisco 3355 Mobility Services Engine に電源を投入するための特定の手順は、[Mobility Services Engine の電源投入 \(2-28 ページ\)](#)に記載されています。

Mobility Services Engine が AC 電源に接続されているもののオンになっていないと、オペレーティング システムは起動せず、サービス プロセッサ (統合管理モジュール) を除くすべてのコア ロジックはシャットダウンされます。ただし、Mobility Services Engine は、Mobility Services Engine をオンにするリモート要求など、サービス プロセッサへの要求には応答できます。電源オン LED の点滅は、Mobility Services Engine が電源に接続されているもののオンになっていないことを示します。

### Cisco 3355 Mobility Services Engine をオンにする

Mobility Services Engine が電源に接続されてから約 5 秒で、システムが電源に接続されている間の冷却を行うために 1 つまたは複数のファンが動作し始め、電源オン ボタンの LED がすばやく点滅します。Mobility Services Engine が電源に接続されてから約 20 ~ 40 秒で、電源制御ボタンがアクティブになり (電源オン LED がゆっくり点滅し)、Mobility Services Engine が電源に接続している間の冷却を行うために 1 つまたは複数のファンが動作を開始します。Mobility Services Engine をオンにするには、電源制御ボタンを押します。

Mobility Services Engine がオンのときに電源障害が発生した場合、電源が復元したときにシステムは自動的に再起動します。

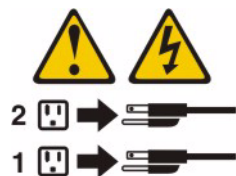
### Cisco 3355 Mobility Services Engine をオフにする

Mobility Services Engine をオフにしても、電源に接続したままにしておくと、Mobility Services Engine は、Mobility Services Engine をオンにするリモート要求など、サービス プロセッサへの要求に応答できます。Mobility Services Engine が電源に接続された状態では、1 つまたは複数のファンが動作し続ける場合があります。Mobility Services Engine からすべての電力を取り除くには、電源から切り離す必要があります。



**注意**

デバイスの電源制御ボタンと、電源装置の電源スイッチでは、デバイスに供給されている電流を止めることはできません。また、デバイスには複数の電源コードが接続されている場合があります。デバイスからすべての電流を取り除くには、すべての電源コードが電源から取り外されていることを確認してください。

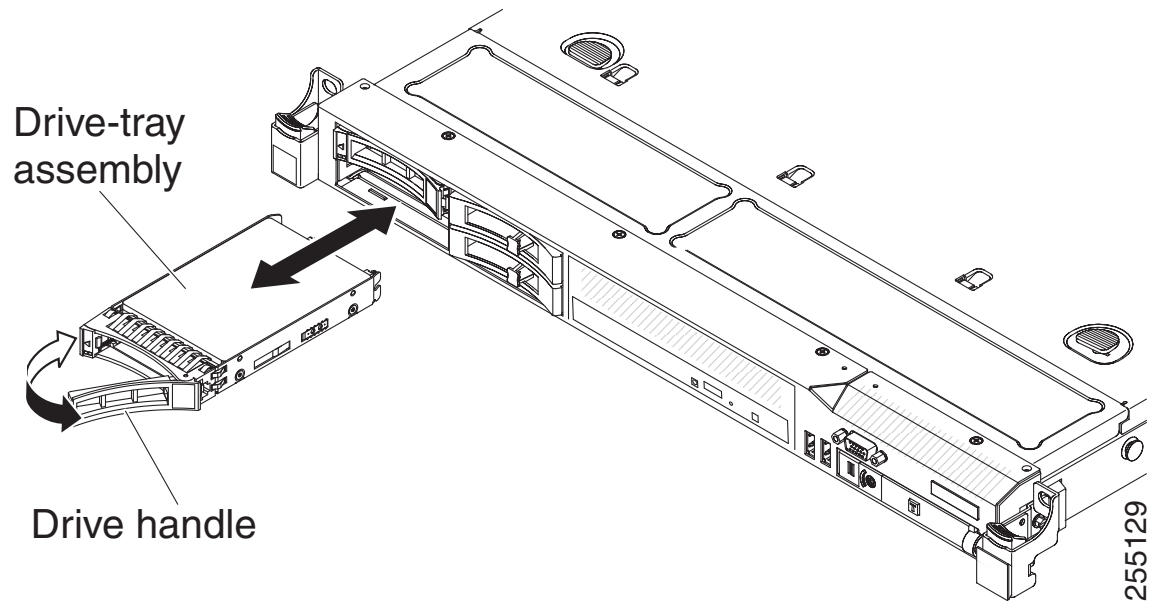


重大なシステム障害に対する自動応答として、統合管理モジュール (IMM) が Mobility Services Engine をオフにする場合があります。



# 障害のあるホットスワップハードディスクドライブの交換

2.5 インチホットスワップ SAS ハードディスクドライブを交換するには、次の手順に従います。交換用のハードディスクドライブはシスコに発注できます。交換部品 PID は、AIR-SRVR-146GB-HD= です。



- ステップ 1** 一般的な警告、規制準拠、および安全性に関する情報(1-3 ページ)の安全上の注意事項をお読みください。
- ステップ 2** ドライブを含む静電気保護パッケージを **Mobility Services Engine** の塗装されていない金属面に接触させます。その後、パッケージからドライブを取り出し、静電気防止面に置きます。
- ステップ 3** 交換するドライブをドライブ スロットから引き出す前に、そのドライブに障害があることを確認してください。トレイハンドルを押して、ドライブのロックを解除します。トレイハンドルを引いて、ドライブを取り外します。
- ステップ 4** ドライブ ベイにハードディスクドライブを装着します。
  - a. トレイハンドルがオープン(ロック解除)の位置にあることを確認します。
  - b. ドライブ アセンブリと、ベイ内のガイド レールの位置を合わせます。
  - c. ドライブが止まるまで、ドライブ アセンブリをベイにゆっくり押し込みます。
  - d. トレイハンドルをクローズ(ロック)の位置まで回します。
  - e. ハードディスクドライブのステータス LED をチェックして、ハードディスクドライブが正常に動作していることを確認します。あるドライブに対応するオレンジのハードディスクドライブのステータス LED が点灯している場合、そのドライブには障害が発生しているため、交換する必要があります。緑色のハードディスクドライブのアクティビティ LED が点滅している場合は、そのドライブがアクセスされていることを示しています。

## ホットスワップ AC 電源装置の交換

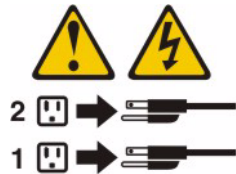
ここでは、サーバがサポートする AC 電源装置のタイプと、故障した電源装置を交換するときに考慮する必要があるその他の情報について説明します。

- Cisco 3355 Mobility Services Engine には、電源装置ベイ 1 および 2 に接続する、2 台の 675 ワット ホットスワップ 12 ボルト出力電源装置が付属しています。入力電圧は自動検知の 110 VAC または 220 VAC です。
- 電源装置 1 は、デフォルト/プライマリ電源です。電源装置 1 に障害が発生した場合は、ただちに交換する必要があります。
- 交換用の電源装置はシスコに発注できます。交換部品 PID は、AIR-SRVR-PWR= です。
- これらの電源装置は、並行動作用に設計されています。電源装置の障害イベントが発生すると、冗長電源が引き続きシステムに電力を供給します。



**注意**

デバイスの電源制御ボタンと、電源装置の電源スイッチでは、デバイスに供給されている電流を止めることはできません。また、デバイスには複数の電源コードが接続されている場合があります。デバイスからすべての電流を取り除くには、すべての電源コードが電源から取り外されていることを確認してください。



**注意**

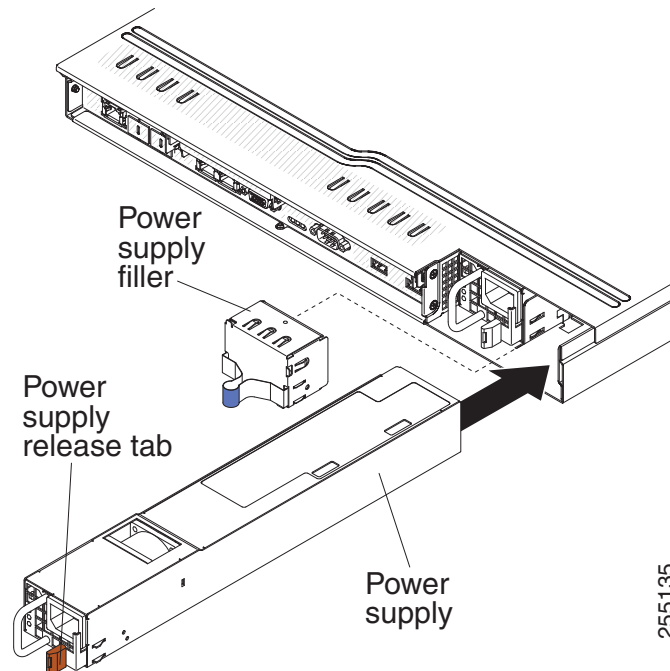
電源装置のカバーや、次のラベルの付いた部品は取り外さないでください。このラベルの付いたコンポーネント内には、危険な電圧、電流、およびエネルギー レベルが存在します。これらのコンポーネント内に保守可能な部品はありません。これらの部品のいずれかに問題があると思われる場合は、サービス技術者に連絡してください。



ホットスワップ電源装置を装着するには、次の手順に従います。

- ステップ 1** 一般的な警告、規制準拠、および安全性に関する情報 (1-3 ページ) の安全上の注意事項をお読みください。
- ステップ 2** ホットスワップ電源装置を含む静電気保護パッケージを Mobility Services Engine の塗装されていない金属面に接触させます。その後、パッケージから電源装置を取り出し、静電気防止面に置きます。

- ステップ 3** 最初に、障害のある電源装置を取り外します。電源装置の背面にあるハンドルを握り、電源装置をシャーシから引き出します。



- ステップ 4** 電源装置の背面にあるハンドルを握り、カチッと音がするまで電源装置を電源装置ベイに押し込みます。電源装置が電源装置コネクタにしっかり接続していることを確認します。
- ステップ 5** 電源コードが誤って外れないように、コードをハンドルに通します。
- ステップ 6** 新しい電源装置の電源コードを、電源装置の電源コードコネクタに接続します。
- ステップ 7** 適切にアースされたコンセントに電源コードの反対側を接続します。
- ステップ 8** AC 電源装置の AC 電源 LED と DC 電源 LED が点灯して、電源装置の正常な動作を示していることを確認します。グリーン色の 2 つの LED が、電源コードコネクタの右側にあります。

## ケーブルの接続

図 2-9 に、Cisco 3355 Mobility Services Engine の前面にある入力コネクタと出力コネクタの位置を示します。

図 2-9 Cisco 3355 Mobility Services Engine の前面

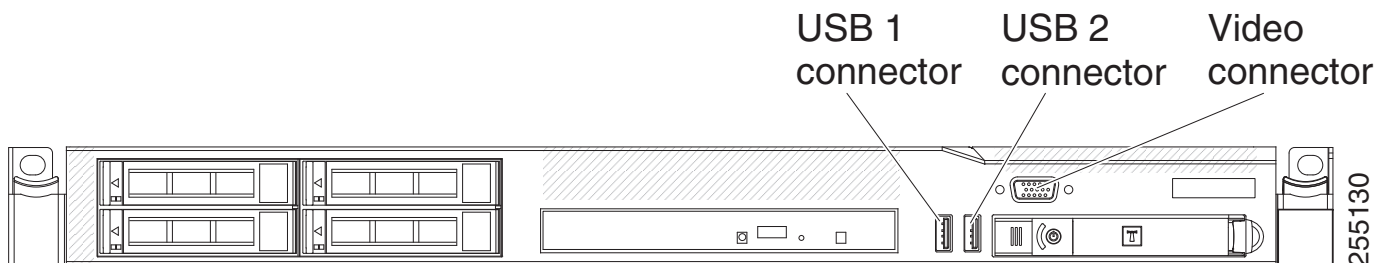
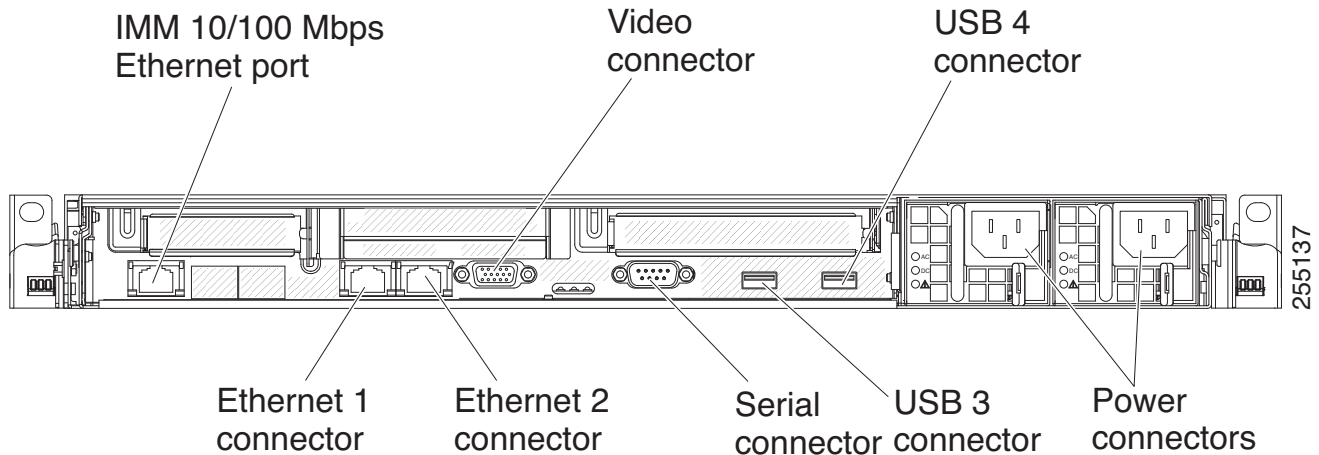


図 2-10 に、Mobility Services Engine の背面にある入力コネクタと出力コネクタの位置を示します。

図 2-10 Cisco 3355 Mobility Services Engine の背面



## CLI コンソールの接続と使用

初期のシステム設定では、コマンドライン インターフェイス (CLI) コンソールを使用します。CLI コンソールは、Mobility Services Engine の背面パネルにある DB9 コンソール ポートに接続します。図 2-5 (2-20 ページ) に、Mobility Services Engine の背面パネルにあるコンソール ポートを示します。背面パネルのコンポーネントについては、背面パネルのコンポーネント (2-20 ページ) で説明しています。

CLI コンソールセッションに対して、これらのターミナル エミュレータ設定を使用します。

- 9600 ボー
- 8 データ ビット
- フロー制御なし
- 1 ストップ ビット
- パリティなし

## Mobility Services Engine の電源投入

Mobility Services Engine に AC 電源を適用すると、起動スクリプトによってオペレーティング システムと保存済みの設定が初期化されます。ユーザ ID とパスワードの入力と、キー設定の詳細の入力を要求するプロンプトが表示されます。

Mobility Services Engine に電源を投入するには、次の手順に従います。

- ステップ 1** AC 電源コードを 2 台の電源装置の背面に差し込みます(図 2-5 (2-20 ページ))。電源装置を 1 台しか電源に接続しなくてもシステムは正常に機能しますが、Mobility Services Engine のモニタリング コンポーネントが 2 台めの電源装置が存在しないことを検出し、WCS にアラートを送信します。アースされた 100 ~ 240 VAC 50/60 Hz のコンセントに、電源コードの反対側を接続します。

Mobility Services Engine に差し込む側の電源コードは、IEC 320 標準に準拠しています。

- ステップ 2** オペレータ情報パネルにある前面パネルの電源オン/スタンバイ ボタンを使用して、Mobility Services Engine をオンにします(図 2-2(2-15 ページ))。
- ステップ 3** ログインプロンプトで、Mobility Services Engine のユーザ ID とパスワードを入力します。デフォルトのユーザ ID は *root*、デフォルトのパスワードは *password* です。
- ユーザ ID とパスワードは、大文字と小文字が区別されます。
- これで、Mobility Services Engine のオペレーティング システムにログインできます。
- [「Mobility Services Engine の設定」セクション\(2-29 ページ\)](#)に進みます。

## Mobility Services Engine の設定

Mobility Services Engine の最小限の設定は、コンソールを使用したインストールの一環として実行されます。自動インストールを使用した初期セットアップ以外のすべての設定は、シスコ WCS で行います。自動インストールの詳細については、[「自動インストール スクリプト」セクション\(2-29 ページ\)](#)を参照してください。



- (注) 最適なネットワークセキュリティを確保するために、Mobility Services Engine の初期設定時にデフォルトの *root* パスワードを変更する必要があります。
- 自動セットアップ スクリプト中にパスワードを変更するように要求されます。
  - Linux コマンド `passwd` を使用してパスワードを変更することもできます。

## 自動インストール スクリプト



- (注) ネットワーク内で Mobility Services Engine が最適に動作するように、すべての関連項目を初期セットアップ時に設定することを推奨します。ホスト名とイーサネット 0(eth0)またはイーサネット 1(eth1)ポートは、必ず自動インストール中に設定してください。



- (注) 自動インストール スクリプトは、パラメータを追加または変更するためにいつでも再実行できます。変更しない値は、これらの更新作業の際に再入力する必要はありません。



- (注) ある項目を設定しない場合は、**skip** を入力すると次の設定手順のプロンプトが表示されます。スキップされた設定は保持され、変更されません。

自動インストール スクリプトは、説明文とともに次のように画面に表示されます。

Example text: Indicates the installation script that displays to the console.

本文:スクリプト内の手順についてユーザに追加情報を提供します。

ログイン *root* を入力します。

```
localhost.localdomain login:
```

パスワード *password* を入力します。

```
Password:
```

初期パラメータを手動で設定するかセットアップ ウィザードを使用して設定するかを入力します。

```
Setup parameters via Setup Wizard (yes/no) [yes]: yes
```

セットアップ ウィザードを使用する場合は **Yes** と入力し、手動でパラメータを設定する場合は **No** と入力します。経験豊かな Linux システム管理者だけが、セットアップ スクリプトを使用してシステムを設定することを選択できます。角カッコ内のオプションは、デフォルトです。デフォルトを選択するには、**Enter** キーを押します。

**Yes** と入力すると、コンソールに次のように表示されます。

```
-----
Welcome to the MSE appliance setup.
```

```
Please enter the requested information. At any prompt,
enter ^ to go back to the previous prompt. You may exit at
any time by typing <Ctrl+C>.
```

```
You will be prompted to choose whether you wish to configure a
parameter, skip it, or reset it to its initial default value.
Skipping a parameter will leave it unchanged from its current
含まれています。
```

```
Changes made will only be applied to the system once all the
information is entered and verified.
```

```
-----
Current hostname=[mse]
Configure hostname? (Y)es/(S)kip/(U)se default [Yes]:Y
```

ホスト名は、ネットワーク上のデバイスを識別できる一意の名前にしてください。ホスト名は、文字で開始し、文字または数字で終了し、文字、数字、およびダッシュだけを含みます。

```
Enter a host name [mse]: mse-j05
```

このデバイスが属するネットワークドメインのドメイン名を入力します。ドメイン名は、文字で開始し、*.com* などの有効なドメイン名の拡張子で終了します。ドメイン名には、文字、数字、ダッシュ、ピリオドを使用できます。

```
Current domain=[]
Configure domain name? (Y)es/(S)kip/(U)se default [Yes]: s
```

```
Current IP address=[1.1.1.10]
Current eth0 netmask=[255.255.255.0]
Current gateway address=[1.1.1.1]
Configure eth0 interface parameters? (Y)es/(S)kip/(U)se default [Yes]: Y
```

Ethernet-0(eth0) インターフェイスの情報を入力する場合は、**Yes** と入力します。



(注) ネットワーク管理者は、後続のプロンプトに IP アドレス、ネットワーク マスク、およびデフォルト ゲートウェイ アドレスを指定できます。

```

Enter an IP address for first ethernet interface of this machine.

Enter eth0 IP address [1.1.1.10]: 172.19.35.236

Enter the network mask for IP address 172.19.35.236.

Enter network mask [255.255.255.0]: 255.255.254.0

Enter a default gateway address for this machine.

Note that the default gateway must be reachable from the first ethernet interface.

Enter default gateway address [1.1.1.1]:172.19.34.1

The second ethernet interface is currently disabled for this machine.

Configure eth1 interface parameters? (Y)es/(S)kip/(U)se default [Yes]:s

```

2 番目のイーサネット (eth1) インターフェイスの情報を入力する場合は、**Yes** と入力します。



(注) 2 番目のイーサネット インターフェイス (eth1) は、**skip** と入力してスキップすることもできます。

DNS 情報を入力します。

```

Domain Name Service (DNS) Setup
DNS is currently enabled.
No DNS servers currently defined
Configure DNS related parameters? (Y)es/(S)kip/(U)se default [Yes]: s

```

タイムゾーン情報を入力します。



(注) Mobility Services Engine、シスコ WCS、およびコントローラ間の通信は、協定世界時 (UTC) で実行されます。Mobility Services Engine にはローカル タイムゾーンが設定されています。これにより、ネットワーク オペレーション センターの担当者によるログ内のイベントの検索をサポートします。各システムで NTP を設定すると、デバイスに UTC 時刻が提供されます。

```

Current timezone=[America/New_York]
Configure timezone? (Y)es/(S)kip/(U)se default [Yes]: y

```

Enter the current date and time.

Please identify a location so that time zone rules can be set correctly.

Please select a continent or ocean.

- 1) Africa
- 2) Americas
- 3) Antarctica
- 4) Arctic Ocean
- 5) Asia
- 6) Atlantic Ocean
- 7) Australia
- 8) Europe
- 9) Indian Ocean
- 10) Pacific Ocean
- 11) UTC - I want to use Coordinated Universal Time.
- 12) Return to previous setup step (^).

#? 2

Please select a country.

- |                        |                             |
|------------------------|-----------------------------|
| 1) Anguilla            | 27) Honduras                |
| 2) Antigua & Barbuda   | 28) Jamaica                 |
| 3) Argentina           | 29) Martinique              |
| 4) Aruba               | 30) Mexico                  |
| 5) Bahamas             | 31) Montserrat              |
| 6) Barbados            | 32) Netherlands Antilles    |
| 7) Belize              | 33) Nicaragua               |
| 8) Bolivia             | 34) Panama                  |
| 9) Brazil              | 35) Paraguay                |
| 10) Canada             | 36) Peru                    |
| 11) Cayman Islands     | 37) Puerto Rico             |
| 12) Chile              | 38) St Barthelemy           |
| 13) Colombia           | 39) St Kitts & Nevis        |
| 14) Costa Rica         | 40) St Lucia                |
| 15) Cuba               | 41) St Martin (French part) |
| 16) Dominica           | 42) St Pierre & Miquelon    |
| 17) Dominican Republic | 43) St Vincent              |
| 18) Ecuador            | 44) Suriname                |
| 19) El Salvador        | 45) Trinidad & Tobago       |
| 20) French Guiana      | 46) Turks & Caicos          |
| 21) Greenland          | 47) United States           |
| 22) Grenada            | 48) Uruguay                 |
| 23) Guadeloupe         | 49) Venezuela               |
| 24) Guatemala          | 50) Virgin Islands (UK)     |
| 25) Guyana             | 51) Virgin Islands (US)     |
| 26) Haiti              |                             |

#? 47

Please select one of the following time zone regions.

- 1) Eastern Time
- 2) Eastern Time - Michigan - most locations
- 3) Eastern Time - Kentucky - Louisville area
- 4) Eastern Time - Kentucky - Wayne County
- 5) Eastern Time - Indiana - most locations
- 6) Eastern Time - Indiana - Daviess, Dubois, Knox & Martin Counties
- 7) Eastern Time - Indiana - Pulaski County
- 8) Eastern Time - Indiana - Crawford County
- 9) Eastern Time - Indiana - Pike County
- 10) Eastern Time - Indiana - Switzerland County
- 11) Central Time
- 12) Central Time - Indiana - Perry County
- 13) Central Time - Indiana - Starke County
- 14) Central Time - Michigan - Dickinson, Gogebic, Iron & Menominee Counties
- 15) Central Time - North Dakota - Oliver County
- 16) Central Time - North Dakota - Morton County
- 17) Mountain Time
- 18) Mountain Time - south Idaho & east Oregon
- 19) Mountain Time - Navajo
- 20) Mountain Standard Time - Arizona
- 21) Pacific Time
- 22) Alaska Time
- 23) Alaska Time - Alaska panhandle
- 24) Alaska Time - Alaska panhandle neck
- 25) Alaska Time - west Alaska
- 26) Aleutian Islands
- 27) Hawaii

#? 21

The following information has been given:

```

United States
Pacific Time

```

```

Therefore TZ='America/Los_Angeles' will be used.
Local time is now:      Fri Feb 25 13:22:18 PST 2011.

```



```

Universal Time is now: Fri
Is the above information OK?
1) Yes
2) No
#? y
Please enter 1 for Yes, or 2 for No.
#? 1

```

NTP サーバ情報を入力します。



**(注)** Mobility Services Engine とその関連コントローラは、同一 NTP サーバと同一 シスコ WCS サーバにマップする必要があります。NTP サーバは、コントローラ、シスコ WCS、および Mobility Services Engine 間で時刻を自動的に同期する必要があります。

Network Time Protocol (NTP) Setup.

If you choose to enable NTP, the system time will be configured from NTP servers that you select. それ以外の場合は、次に進みます。 you will be prompted to enter the current date and time.

NTP is currently disabled.

Configure NTP related parameters? (Y)es/(S)kip/(U)se default [Yes]: **s**

Current timeofday=[Fri Feb 25 13:22:29 PST 2011]

Configure time of day? (Y)es/(S)kip [Skip]: **s**

ユーザがコンソールまたは SSH 経由でログインした場合は、ログイン バナーが表示されます。次に、デフォルトのバナーの例を示します。次の手順に従って、このバナーに表示されるテキストを変更できます。バナーは通常、ユーザがプライベート システムを開始していることを警告するために使用されます。

Current Login Banner = [Cisco Mobility Services Engine]

Configure login banner (Y)es/(S)kip/(U)se default [Yes]: **s**

System console is not restricted.

Configure system console restrictions? (Y)es/(S)kip/(U)se default [Yes]: **s**

SSH root access is currently enabled.

Configure ssh access for root (Y)es/(S)kip/(U)se default [Yes]: **s**

Single user mode password check is currently disabled.

Configure single user mode password check (Y)es/(S)kip/(U)se default [Yes]: **s**

Configure root password? (Y)es/(S)kip/(U)se default [Yes]: **s**

Changing password for user root.

You can now choose the new password.

A valid password should be a mix of upper and lower case letters, digits, and other characters. You can use an 8 character long password with characters from at least 2 of these 4 classes. An upper case letter that begins the password and a digit that ends it do not count towards the number of character classes used.

Enter new password:

Re-type new password:

passwd: all authentication tokens updated successfully.

```

Login and password strength related parameter setup
Maximum number of days a password may be used : 99999
Minimum number of days allowed between password changes : 0
Minimum acceptable password length : 8
Login delay after failed login : 5
Checking for strong passwords is currently enabled.

```

```
Configure login/password related parameters? (Y)es/(S)kip/(U)se default [Yes]: s
```

強力な(Grand Unified Bootloader [GRUB])パスワードを設定することもできます。強力なパスワードは、9文字以上で、小文字2文字、数字2文字、特殊文字2文字(\$や#など)を含める必要があります。条件を満たしていないパスワードを入力すると、エラーメッセージが表示されます。



注意

GRUB パスワードを忘れた場合は、ログインできません。また、返品許可(RMA)の準備のためにTACに連絡する必要があります。



(注)

強力なパスワードがイネーブルでない場合は、パスワードを任意の長さにすることができます。



(注)

強力なパスワードが設定される前に定義されたパスワードは、強力なパスワードの設定に影響されません。強力なパスワードが設定された後に設定されたパスワードだけが影響を受けます。たとえば、シスコ WCS 通信パスワード(下の例を参照)や、期限切れのパスワードのように、このスクリプトの後半に設定されたパスワードには強力なパスワードが必要になります。

```
GRUB password is not currently configured.
Configure GRUB password (Y)es/(D)isable/(S)kip/(U)se default [Yes]: s
```

Mobility Services Engine の setup.sh スクリプト ファイルを使用して、WCS 通信のユーザ名とパスワードを設定できます。

WCS のユーザ名とパスワードの設定時に起きる可能性があるシナリオは、次のとおりです。

- 新しい WCS のユーザ名とパスワードを設定すると、そのパスワードは新しく作成された WCS のユーザ名に適用されます。
- WCS のパスワードを設定しないで WCS のユーザ名だけを設定すると、デフォルトのパスワード *admin* が設定されたユーザ名に適用されます。
- WCS のユーザ名を設定せずに WCS のパスワードだけを設定すると、管理ユーザのパスワードが変更されます。
- WCS のユーザ名に対して既存のユーザ名を設定し、パスワードも設定すると、その既存のユーザのパスワードが変更されます。



(注)

これらのユーザは API ユーザで、Mobility Services Engine アプライアンス上に対応する OS ユーザはありません。

シスコ WCS 通信パスワードを有効にして定義するには **Y** と入力します。



(注) このパスワードは、シスコ WCS GUI にアクセスするための個々のユーザパスワードは定義しません。このパスワードは、システム (Mobility Services Engine など) とシスコ WCS 間の SOAP/XML 認証に使用されます。

```
Configure WCS communication username? (Y)es/(S)kip/(U)se default [Yes]: s
```

```
Configure WCS communication password? (Y)es/(S)kip/(U)se default [Yes]: s
```



(注) BIOS への不正なアクセスを防止するために、BIOS パスワードを設定することを推奨します。

インストール スクリプトに入力されたすべての情報が画面に表示されます。

Please verify the following setup information.

```
-----
Host name= mse-j05
Eth0 IP address=172.19.35.236, Eth0 network mask=255.255.254.0
Default gateway=171.19.34.1
Time zone=America/Los_Angeles
-----
```

You may enter "yes" to proceed with configuration, "no" to make more changes, or "^" to go back to the previous step.

スクリプトの設定が画面に表示されたら、入力したすべてのセットアップ情報を確認するように求められます。**Yes** を入力して設定を進めるか、**No** を入力してさらに変更するか、または **^** を入力して前の手順に戻ることができます。

Is the above information correct (yes, no, or ^):

**yes** を入力すると、設定情報が適用されます。変更が適用されたことを確認するプロンプトが表示された場合は、システムをリブートすることをお勧めします。



(注) 設定が完了すると、「\*\*\*Configuration successful\*\*\*」というメッセージが画面に表示されます。

次のログイン時に **root** を使用すると、Linux シェルプロンプトだけが表示され、セットアップスクリプトは表示されません。**root** としてログインし、**/opt/mse/setup/setup.sh** を実行すれば、いつでもセットアップスクリプトを再実行して設定を変更できます。

セットアップスクリプトはログファイルを生成します。このファイルは **/opt/mse/setup/setup.log** で参照できます。

## NTP サーバの設定

NTP サーバを設定して、Mobility Services Engine の時刻と日付を設定できます。



(注) 自動インストール スクリプトの一環として、NTP をイネーブルにし、NTP サーバ IP アドレスを入力するように求めるプロンプトが自動的に表示されます。自動インストール スクリプトの詳細については、「[Mobility Services Engine の設定](#)」セクション(2-29 ページ)を参照してください。



(注) Mobility Services Engine のインストール後に NTP サーバのインストールを追加または変更する必要がある場合、自動インストール スクリプトを再実行します。スクリプトをタブで指定して他の値を調整せずに NTP サーバを設定できます。自動スクリプトを再実行するには、`root` としてログインし、`/opt/mse/setup/setup.sh` を実行します。



(注) NTP 設定の詳細については、Linux の設定ガイドを参照してください。

## Mobility Services Engine の起動

ブートアップ後に Mobility Services Engine が自動的に起動するように設定するには、次を入力します。

```
[root@mse-server1]# chkconfig msed on
```

イメージを手動で開始するには、`/etc/init.d/msed start` を入力します。

## Mobility Services Engine ソフトウェアの状態の確認

Mobility Services Engine ソフトウェアの状態はいつでも確認できます。Mobility Services Engine の CLI インターフェイスで、`/etc/init.d/msed status` を入力します。

Mobility Services Engine が動作している場合、コマンド出力は次の例のようになります。

```
-----
Server Config
-----
Product name: Cisco Mobility Services Engine
Version: x.x.x.x
Hw Version: none
Hw Product Identifier: none
Hw Serial Number: none
Use HTTPS: true
HTTPS Port: 443
Use HTTP: false
HTTP Port: 80
Legacy HTTPS: false
Legacy Port: 8001
Session timeout in mins: 30
DB backup in days: 0

-----
Server Monitor
```

```
-----  
Start time: Wed Sept 30 15:24:36 EDT 2008  
Server current time: Fri May 30 19:08:15 EDT 2008  
Server timezone: America/New_York  
Server timezone offset: -18000000  
-----  
Service Engine (1):  
-----  
NAME: Location Service  
VERSION: x.x.x.x  
-----  
Location Service Monitor  
-----  
Log Modules: 262143  
Log Level: INFO  
Days to keep events: 2  
Keep absent data in mins: 1440  
Restarts: 1  
Used Memory (bytes): 129851856  
Allocated Memory (bytes): 3087007744  
Max Memory (bytes): 3087007744  
DB virtual memory (kbytes): 0  
DB virtual memory limit (bytes): 256000000  
DB disk memory (bytes): 4128768  
DB free size (kbytes): 2856  
Active Elements: 0  
Active Clients: 0  
Active Tags: 0  
Active Rogues: 0  
Active Elements Limit: 18000  
Active Sessions: 0  
Clients Not Tracked due to the limiting: 0  
Tags Not Tracked due to the limiting: 0  
Rogues Not Tracked due to the limiting: 0  
Total Elements Not Tracked due to the limiting: 0
```

Mobility Services Engine が動作していない場合、コマンド出力は次の例のようになります。

```
MSE Platform is down
```

## Mobility Services Engine ソフトウェアの手動停止

Mobility Services Engine ソフトウェアは、初期設定後と各リブート後に自動的に実行されます。ソフトウェアを手動で停止し、再起動するには、次の手順に従います

- 
- ステップ 1** ソフトウェアを停止するには、`/etc/init.d/msed stop` を入力します。
  - ステップ 2** ステータスを確認するには、`/etc/init.d/msed status` を入力します。
  - ステップ 3** ソフトウェアを起動するには、`/etc/init.d/msed start` を入力します。
-

## 実行中の Mobility Services Engine の手動再起動

**ステップ 1** 実行中の Mobility Services Engine を再起動するには、`/etc/init.d/msed restart` を入力します。

## Mobility Services Engine ソフトウェアの更新

Mobility Services Engine の更新は、シスコ WCS を使用するか、または Mobility Services Engine に接続されたコンソール ポートを使用して手動でソフトウェアをダウンロードして実行できます。



(注) アップグレードの直後に、Prime Infrastructure 上で MSE に到達できない場合は、MSE 上の root ユーザとして `run reboot linux` コマンドを使用して、MSE をリブートする必要があります。



(注) 最新のシスコ WCS、Mobility Services Engine の互換性、および特定のリリースのインストレーション ノートについては、次の URL にある適切なリリース ノートを参照してください。  
[http://www.cisco.com/en/US/products/ps9742/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps9742/tsd_products_support_series_home.html)

Mobility Services Engine のソフトウェアをダウンロードし、更新を行う前に、次のことに注意してください。

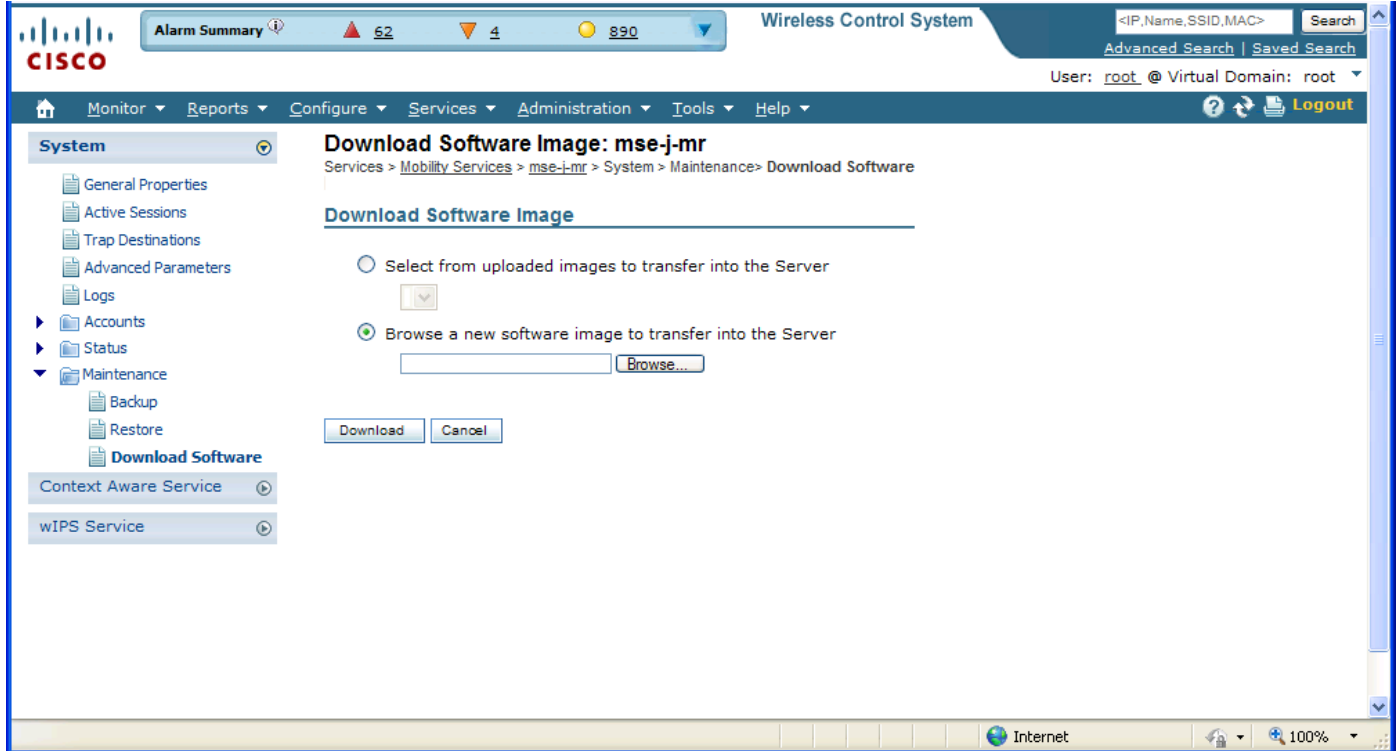
- Mobility Services Engine (サーバ) イメージは圧縮されています。ソフトウェア イメージは、シスコ WCS からのダウンロード中に自動的に解凍されます。
- 新しくロードされた Mobility Services Engine ソフトウェアのバージョンが、シスコ WCS の [Services] > [Mobility Services] ウィンドウに表示されるまで約 5 分かかります (図 2-11)。シスコ WCS は、Mobility Services Engine の接続およびデータベースの更新について、デフォルトで 5 分ごとにクエリーを実行します。

## シスコ WCS の使用によるソフトウェアのダウンロード

シスコ WCS を使用してソフトウェアを Mobility Services Engine にダウンロードするには、次の手順に従います。

- ステップ 1** イメージのダウンロードに使用するシスコ WCS または外部 FTP サーバから、Mobility Services Engine に対して ping を実行できることを確認します。
- ステップ 2** Cisco WCS で、[Services] > [Mobility Services] を選択します (図 2-11)。
- ステップ 3** ソフトウェアをダウンロードする Mobility Services Engine の名前をクリックします。
- ステップ 4** [Maintenance] を選択します (左側のパネル)。
- ステップ 5** [Download Software] を選択します。

図 2-11 [Mobility Services] ウィンドウ



**ステップ 6** ソフトウェアをダウンロードするには、次のいずれかを実行します。

- シスコ WCS のディレクトリにリストされているソフトウェアをダウンロードするには、[Select from uploaded images to transfer into the Server] チェックボックスをオンにします。次に、ドロップダウン メニューからバイナリ イメージを選択します。

シスコ WCS により、ドロップダウン メニューにリストされているバイナリ イメージが、シスコ WCS のインストール時に指定した FTP サーバディレクトリにダウンロードされます。

- ローカルまたはネットワーク経由で使用可能なダウンロード済みソフトウェアを使用するには、[Browse a new software image to transfer into the Server] チェックボックスをオンにし、[Browse] をクリックします。ファイルを見つけ、[Open] をクリックします。

**ステップ 7** [Download] をクリックし、ソフトウェアを Mobility Services Engine の /opt/installers ディレクトリにダウンロードします。

**ステップ 8** イメージが Mobility Services Engine に転送されたら、Mobility Services Engine の CLI にログインし、`.image-name` コマンドを入力して、/opt/installers ディレクトリからインストーラ イメージを実行します。

**ステップ 9** ソフトウェアを実行するには、`/etc/init.d/msed start` を入力します。

**ステップ 10** ソフトウェアを停止するには、`/etc/init.d/msed stop` を入力します。ステータスを確認するには `/etc/init.d/msed status` と入力します。

## ソフトウェアの手動ダウンロード

シスコ WCS を使用して自動的に Mobility Services Engine ソフトウェアを更新しない場合は、ローカル(コンソール)またはリモート (SSH) 接続を使用して、次の手順に従ってソフトウェアを手動でアップグレードします。

**ステップ 1** 新しい Mobility Services Engine イメージをハード ドライブに転送します。

- a. `root` としてログインし、バイナリ設定を使用して外部 FTP サーバのルート ディレクトリからソフトウェア イメージを送信します。

ソフトウェア イメージのファイル名の例: `CISCO-MSE-L-K9-x-x-x-x-64bit.bin.gz` (各リリースで異なります)。



(注) この時点では、Mobility Services Engine イメージは圧縮されています。



(注) FTP サーバのデフォルトのログイン名は、`ftp-user` です。

たとえば、次のようなエントリになります。

```
# cd /opt/installers
# ftp <FTP Server IP address>
Name: <login>
Password: <password>
binary
get CISCO-MSE-L-K9-x-x-x-x-64bit.bin.gz
<CTRL-Z>
#
```

- b. イメージ (`CISCO-MSE-L-K9-x-x-x-x-64bit.bin.gz`) が Mobility Services Engine の `/opt/installers` ディレクトリにあることを確認します。

- c. イメージ ファイルを解凍するには、次を入力します。

```
gunzip CISCO-MSE-L-K9-x-x-x-x-64bit.bin.gz
```

圧縮解除すると、`bin` ファイルが生成されます。

- d. `root` ユーザに対して `CISCO-MSE-L-K9-x-x-x-x.bin` ファイルの実行が許可されていることを確認します。そうでない場合は、次を入力します。

```
chmod 755 CISCO-MSE-L-K9-x-x-x-x.bin
```

**ステップ 2** 手動で Mobility Services Engine を停止するには、`root` としてログインし、次を入力します。

```
/etc/init.d/msed stop
```

**ステップ 3** 新しい Mobility Services Engine のイメージをインストールするには、次を入力します。

```
/opt/installers/ CISCO-MSE-L-K9-x-x-x-x.bin
```

**ステップ 4** 新しいモビリティ サービス ソフトウェアを起動するには、次を入力します。

```
/etc/init.d/msed start
```



### 注意

次の手順ではスクリプト ファイルをアンインストールしますが、システムからの指示がない限り実行しないでください。ファイルを削除すると、履歴データが不必要に消去されます。



**ステップ 5** Mobility Services Engine のスクリプト ファイルをアンインストールするには、次を入力します。

```
/opt/mse/uninstall
```

## 失われたルートパスワードの回復

Mobility Services Engine の root パスワードを紛失したか、忘れてしまった場合は、次の手順に従います。



(注) 次の手順は、ユニットにキーボード、マウス、およびモニタを接続するのではなく、コンソールポートによる接続を介して実行する必要があります。

**ステップ 1** GRUB 画面が表示されたら、Esc を押してブートメニューを開始します。  
シリアルコンソールに GRUB メニューが表示されない場合は、[ステップ 4](#)に進みます。



**注意** GRUB パスワードを忘れた場合は、ログインできません。また、RMA を準備するために TAC に連絡する必要があります。

**ステップ 2** e を押して編集します。

**ステップ 3** 「kernel」で始まる行に移動し、e を押します。

行の中に「rhgb quiet consolettys0,9600」の文字列がない場合は、行の末尾にスペースを入力してから「rhgb quiet consolettys0,9600」と入力します。次に、スペースと数字の 1 を入力します。

Enter を押してこの変更を保存します。

**ステップ 4** シリアルコンソールを介して MSE に接続し、リブートしたときに、GRUB 画面が表示されない場合は、次の手順に従います。

a. MSE にモニタとキーボードを接続し、リブートします。

b. 接続されたモニタに GRUB 画面が表示されたら、Esc を押してブートメニューを開始します。

c. 編集する場合は e を押します。

d. 「kernel」で始まる行に移動します。e を押します。

スペースと数字の 1 を入力します。変更された行が次のように表示されます。

```
/vmlinuz-2.6.18-53.el5 ro root=/dev/VolGroup00/LogVol100 1
```

変更を保存するには、Enter を押します。モニタとキーボードを使用して操作を続行します。

**ステップ 5** b を押してブートシーケンスを開始します。

ブートシーケンスの最後にシェルプロンプトが表示されます。



(注) 単一ユーザモードのパスワードを設定した場合は、シェルプロンプトは表示されません。

**ステップ 6** passwd コマンドを入力すると、ルートパスワードを変更できます。

**ステップ 7** 新しいパスワードを入力して確定します。

**ステップ 8** マシンを再起動します。

■ 失われたルートパスワードの回復



## 安全上の考慮事項および翻訳版の安全上の警告

---

この付録では、Cisco 3355 Mobility Services Engine に関する安全上の注意を示します。  
この付録で説明する安全上の考慮事項と安全についての警告は、次のとおりです。

- [安全上の考慮事項 \(A-2 ページ\)](#)
- [警告の定義 \(A-2 ページ\)](#)
- [複数の電源装置 \(A-5 ページ\)](#)
- [設置手順 \(A-7 ページ\)](#)
- [アース線に関する警告 \(A-9 ページ\)](#)
- [ラック マウントおよびラックでの作業時のシャージに関する警告 \(A-11 ページ\)](#)
- [装置の設置についての警告 \(A-20 ページ\)](#)
- [バッテリーの取り扱い \(A-23 ページ\)](#)
- [製品の廃棄処分 \(A-25 ページ\)](#)
- [電源ケーブルおよび AC アダプタ \(A-27 ページ\)](#)

## 安全上の考慮事項

Mobility Services Engine を設置する際は、次のガイドラインに留意してください。

- ラックに設置した場合の温度上昇を考慮に入れて、周囲温度が 10 ~ 35 °C (50 ~ 95 °F) であることを確認してください。
- 複数の Mobility Services Engine を装置ラックに設置する場合は、ラック内のすべての機器が安全に稼働可能な定格電源が使用されていることを確認してください。
- Mobility Services Engine は、完全にアースされていることを確認してから装置ラックに設置してください。

## 警告の定義



Warning

### IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

This warning symbol means danger. You are in a situation that could cause bodily injury. Before you work on any equipment, be aware of the hazards involved with electrical circuitry and be familiar with standard practices for preventing accidents. Use the statement number provided at the end of each warning to locate its translation in the translated safety warnings that accompanied this device. Statement 1071

### SAVE THESE INSTRUCTIONS

Waarschuwing

### BELANGRIJKE VEILIGHEIDSINSTRUCTIES

Dit waarschuwingssymbool betekent gevaar. U verkeert in een situatie die lichamelijk letsel kan veroorzaken. Voordat u aan enige apparatuur gaat werken, dient u zich bewust te zijn van de bij elektrische schakelingen betrokken risico's en dient u op de hoogte te zijn van de standaard praktijken om ongelukken te voorkomen. Gebruik het nummer van de verklaring onderaan de waarschuwing als u een vertaling van de waarschuwing die bij het apparaat wordt geleverd, wilt raadplegen.

### BEWAAR DEZE INSTRUCTIES

Varoitus

### TÄRKEITÄ TURVALLISUUSOHJEITA

Tämä varoitusmerkki merkitsee vaaraa. Tilanne voi aiheuttaa ruumiillisia vammoja. Ennen kuin käsittelet laitteistoa, huomioi sähköpiirien käsittelemiseen liittyvät riskit ja tutustu onnettomuuksien yleisiin ehkäisytapoihin. Turvallisuusvaroitusten käännökset löytyvät laitteen mukana toimitettujen käännettyjen turvallisuusvaroitusten joukosta varoitusten lopussa näkyvien lausuntonumeroiden avulla.

### SÄILYTÄ NÄMÄ OHJEET

**Attention      IMPORTANTES INFORMATIONS DE SÉCURITÉ**

Ce symbole d'avertissement indique un danger. Vous vous trouvez dans une situation pouvant entraîner des blessures ou des dommages corporels. Avant de travailler sur un équipement, soyez conscient des dangers liés aux circuits électriques et familiarisez-vous avec les procédures couramment utilisées pour éviter les accidents. Pour prendre connaissance des traductions des avertissements figurant dans les consignes de sécurité traduites qui accompagnent cet appareil, référez-vous au numéro de l'instruction situé à la fin de chaque avertissement.

**CONSERVEZ CES INFORMATIONS****Warnung      WICHTIGE SICHERHEITSHINWEISE**

Dieses Warnsymbol bedeutet Gefahr. Sie befinden sich in einer Situation, die zu Verletzungen führen kann. Machen Sie sich vor der Arbeit mit Geräten mit den Gefahren elektrischer Schaltungen und den üblichen Verfahren zur Vorbeugung vor Unfällen vertraut. Suchen Sie mit der am Ende jeder Warnung angegebenen Anweisungsnummer nach der jeweiligen Übersetzung in den übersetzten Sicherheitshinweisen, die zusammen mit diesem Gerät ausgeliefert wurden.

**BEWAHREN SIE DIESE HINWEISE GUT AUF.****Avvertenza      IMPORTANTI ISTRUZIONI SULLA SICUREZZA**

Questo simbolo di avvertenza indica un pericolo. La situazione potrebbe causare infortuni alle persone. Prima di intervenire su qualsiasi apparecchiatura, occorre essere al corrente dei pericoli relativi ai circuiti elettrici e conoscere le procedure standard per la prevenzione di incidenti. Utilizzare il numero di istruzione presente alla fine di ciascuna avvertenza per individuare le traduzioni delle avvertenze riportate in questo documento.

**CONSERVARE QUESTE ISTRUZIONI****Advarsel      VIKTIGE SIKKERHETSINSTRUKSJONER**

Dette advarselssymbolet betyr fare. Du er i en situasjon som kan føre til skade på person. Før du begynner å arbeide med noe av utstyret, må du være oppmerksom på farene forbundet med elektriske kretser, og kjenne til standardprosedyrer for å forhindre ulykker. Bruk nummeret i slutten av hver advarsel for å finne oversettelsen i de oversatte sikkerhetsadvarslene som fulgte med denne enheten.

**TA VARE PÅ DISSE INSTRUKSJONENE****Aviso      INSTRUÇÕES IMPORTANTES DE SEGURANÇA**

Este símbolo de aviso significa perigo. Você está em uma situação que poderá ser causadora de lesões corporais. Antes de iniciar a utilização de qualquer equipamento, tenha conhecimento dos perigos envolvidos no manuseio de circuitos elétricos e familiarize-se com as práticas habituais de prevenção de acidentes. Utilize o número da instrução fornecido ao final de cada aviso para localizar sua tradução nos avisos de segurança traduzidos que acompanham este dispositivo.

**GUARDE ESTAS INSTRUÇÕES**

**¡Advertencia! INSTRUCCIONES IMPORTANTES DE SEGURIDAD**

Este símbolo de aviso indica peligro. Existe riesgo para su integridad física. Antes de manipular cualquier equipo, considere los riesgos de la corriente eléctrica y familiarícese con los procedimientos estándar de prevención de accidentes. Al final de cada advertencia encontrará el número que le ayudará a encontrar el texto traducido en el apartado de traducciones que acompaña a este dispositivo.

**GUARDE ESTAS INSTRUCCIONES****Varning! VIKTIGA SÄKERHETSANVISNINGAR**

Denna varningssignal signalerar fara. Du befinner dig i en situation som kan leda till personskada. Innan du utför arbete på någon utrustning måste du vara medveten om farorna med elkretsar och känna till vanliga förfaranden för att förebygga olyckor. Använd det nummer som finns i slutet av varje varning för att hitta dess översättning i de översatta säkerhetsvarningar som medföljer denna anordning.

**SPARA DESSA ANVISNINGAR****Figyelem FONTOS BIZTONSÁGI ELOÍRÁSOK**

Ez a figyelmeztető jel veszélyre utal. Sérülésveszélyt rejtő helyzetben van. Mielőtt bármely berendezésen munkát végezte, legyen figyelemmel az elektromos áramkörök okozta kockázatokra, és ismerkedjen meg a szokásos balesetvédelmi eljárásokkal. A kiadványban szereplő figyelmeztetések fordítása a készülékhez mellékelt biztonsági figyelmeztetések között található; a fordítás az egyes figyelmeztetések végén látható szám alapján kereshető meg.

**ORIZZE MEG EZEKET AZ UTASÍTÁSOKAT!****Предупреждение ВАЖНЫЕ ИНСТРУКЦИИ ПО СОБЛЮДЕНИЮ ТЕХНИКИ БЕЗОПАСНОСТИ**

Этот символ предупреждения обозначает опасность. То есть имеет место ситуация, в которой следует опасаться телесных повреждений. Перед эксплуатацией оборудования выясните, каким опасностям может подвергаться пользователь при использовании электрических цепей, и ознакомьтесь с правилами техники безопасности для предотвращения возможных несчастных случаев. Воспользуйтесь номером заявления, приведенным в конце каждого предупреждения, чтобы найти его переведенный вариант в переводе предупреждений по безопасности, прилагаемом к данному устройству.

**СОХРАНИТЕ ЭТИ ИНСТРУКЦИИ**

**警告** 重要的安全性説明

此警告符号代表危险。您正处于可能受到严重伤害的工作环境中。在您使用设备开始工作之前，必须充分意识到触电的危险，并熟练掌握防止事故发生的标准工作程序。请根据每项警告结尾提供的声明号码来找到此设备的安全性警告说明的翻译文本。

请保存这些安全性说明

**警告** 安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策に留意してください。警告の各国語版は、各注意事項の番号を基に、装置に付属の「Translated Safety Warnings」を参照してください。

これらの注意事項を保管しておいてください。

## 複数の電源装置

**Warning**

**This unit might have more than one power supply connection. All connections must be removed to de-energize the unit.** Statement 1028

**Waarschuwing**

**Deze eenheid kan meer dan één stroomtoevoeraansluiting bevatten. Alle aansluitingen dienen ontkoppeld te worden om de eenheid te ontcrachten.**

**Varoitus**

**Tässä laitteessa voi olla useampia kuin yksi virtakytkentä. Kaikki liitännät on irrotettava, jotta jännite poistetaan laitteesta.**

**Attention**

**Cette unité peut avoir plus d'une connexion d'alimentation. Pour supprimer toute tension et tout courant électrique de l'unité, toutes les connexions d'alimentation doivent être débranchées.**

**Warnung**

**Dieses Gerät kann mehr als eine Stromzufuhr haben. Um sicherzustellen, dass der Einheit kein Strom zugeführt wird, müssen alle Verbindungen entfernt werden.**

**Avvertenza**

**Questa unità può avere più di una connessione all'alimentazione elettrica. Tutte le connessioni devono essere staccate per togliere la corrente dall'unità.**

**Advarsel**

**Denne enheten kan ha mer enn én strømtilførselskobling. Alle koblinger må fjernes fra enheten for å utkoble all strøm.**

**Aviso**

**Esta unidade poderá ter mais de uma conexão de fonte de energia. Todas as conexões devem ser removidas para desligar a unidade.**

**¡Advertencia!**

**Puede que esta unidad tenga más de una conexión para fuentes de alimentación. Para cortar por completo el suministro de energía, deben desconectarse todas las conexiones.**

## ■ 複数の電源装置

**Varning!** Denna enhet har eventuellt mer än en strömförsörjningsanslutning. Alla anslutningar måste tas bort för att göra enheten strömlös.

**Előfordulhat, hogy a készülék többszörösen van csatlakoztatva az áramforráshoz. A készülék áramtalanításához mindegyik csatlakozást meg kell szüntetni.**

**Предупреждение** В данном устройстве может использоваться несколько подключений к электросети. Чтобы обесточить устройство, необходимо отключить все эти подключения.

**警告** 此部件连接的电源可能不止一个。必须将所有电源断开才能停止给该部件供电。

**警告** この装置には、複数の電源が接続されている場合があります。装置の電源を完全にオフにするには、すべての電源を切断する必要があります。

**주의** 본 장치에는 2개 이상의 전원 공급 연결 단자가 있을 수 있습니다. 이 장치의 전원을 차단하려면 모든 연결 단자를 제거해야 합니다.

**Aviso** Esta unidade pode ter mais de uma conexão de fonte de alimentação. Todas as conexões devem ser removidas para interromper a alimentação da unidade.

**Advarsel** Denne enhed har muligvis mere end en strømforsyningstilslutning. Alle tilslutninger skal fjernes for at aflade strømmen fra enheden.

**تحذير** قد تتضمن هذه الوحدة أكثر من اتصال بمورد الطاقة. يجب فصل كافة التوصيلات حتى يمكن إفراغ طاقة الوحدة.

**Upozorenje** Uređaj može imati više priključaka za izvore napajanja. Za potpuno isključivanje napajanja potrebno je iskopčati sve priključke.

**Upozornění** Toto zařízení může být připojeno k více než jednomu zdroji napájení. Aby se zařízení zcela odpojilo od proudu, musí být odpojeno od všech zdrojů napájení.

**Προειδοποίηση** Αυτή η συσκευή ίσως να έχει περισσότερες συνδέσεις τροφοδοσίας. Για να απενεργοποιηθεί η συσκευή, πρέπει να αφαιρεθούν όλες οι συνδέσεις.

**אזהרה** ייתכן שביחידה זו קיים יותר מחיבור אחד לספק כוח. יש להסיר את כל החיבורים כדי להפסיק את אספקת המתח ליחידה.

Уредот може да има повеќе од еден приклучок за напојување. Сите приклучоци мора да се извадат за да се прекине доводот на енергија во уредот.

**Ostrzeżenie** To urządzenie może mieć podłączone więcej niż jedno źródło zasilania. Aby całkowicie odciąć dopływ energii do urządzenia, należy odłączyć wszystkie źródła zasilania.



**Upozornenie** Toto zariadenie môže byť pripojené k viac ako jednému zdroju napájania. Aby sa zariadenie odpojilo od prúdu, musí byť odpojené od všetkých zdrojov.

**警告** 本装置可能有一個以上的供電連線。必須移除所有連線才能將裝置斷電。

## 設置手順



### Warning

**Read the installation instructions before connecting the system to the power source.** Statement 1004

**Waarschuwing** Raadpleeg de installatie-instructies voordat u het systeem op de voedingsbron aansluit.

**Varoitus** Lue asennusohjeet ennen järjestelmän yhdistämistä virtalähteeseen.

**Attention** Avant de brancher le système sur la source d'alimentation, consulter les directives d'installation.

**Warnung** Vor dem Anschließen des Systems an die Stromquelle die Installationsanweisungen lesen.

**Avvertenza** Consultare le istruzioni di installazione prima di collegare il sistema all'alimentatore.

**Advarsel** Les installasjonsinstruksjonene før systemet kobles til strømkilden.

**Aviso** Leia as instruções de instalação antes de ligar o sistema à fonte de energia.

**¡Advertencia!** Lea las instrucciones de instalación antes de conectar el sistema a la red de alimentación.

**Varning!** Läs installationsanvisningarna innan du kopplar systemet till strömförsörjningsenheten.

**Figyelem** Mielőtt áramforráshoz csatlakoztatná a rendszert, olvassa el az üzembe helyezési útmutatót!

**Предупреждение** Перед подключением устройства к источнику электропитания ознакомьтесь с данной инструкцией по установке.

**警告** 在将系统与电源连接之前，请仔细阅读安装说明。

**警告** 必ず設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。

**주의** 시스템을 전원에 연결하기 전에 설치 지침을 읽으십시오.

**Aviso** Leia as instruções de instalação antes de conectar o sistema à fonte de energia.

## ■ 設置手順

**Upozornění** Před připojením systému k elektrické síti si prostudujte pokyny k instalaci.

אזהרה יש לקרוא את הוראות ההתקנה לפני חיבור המערכת למקור המתח.

**Ostrzeżenie** Przed podłączeniem systemu do źródła zasilania należy przeczytać instrukcje dotyczące instalacji.

**Upozornenie** Pred pripojením systému k napájacímu zdroju si prečítajte inštalčné pokyny.

**Opozorilo** Preden sistem priključite, preberite navodila za priključitev.

警告 將系統連接供電系統前，請先閱讀安裝指南。

**Figyelem** Mielőtt áramforráshoz csatlakoztatná a rendszert, olvassa el az üzembe helyezési útmutatót!

**Предупреждение** Перед подключением устройства к источнику электропитания ознакомьтесь с данной инструкцией по установке.

警告 在将系统与电源连接之前，请仔细阅读安装说明。

警告 必ず設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。

주의 시스템을 전원에 연결하기 전에 설치 지침을 읽으십시오.

**Aviso** Leia as instruções de instalação antes de conectar o sistema à fonte de energia.

**Upozornění** Před připojením systému k elektrické síti si prostudujte pokyny k instalaci.

אזהרה יש לקרוא את הוראות ההתקנה לפני חיבור המערכת למקור המתח.

**Ostrzeżenie** Przed podłączeniem systemu do źródła zasilania należy przeczytać instrukcje dotyczące instalacji.

**Upozornenie** Pred pripojením systému k napájacímu zdroju si prečítajte inštalčné pokyny.

**Opozorilo** Preden sistem priključite, preberite navodila za priključitev.

**警告** 將系統連接供電系統前，請先閱讀安裝指南。

## アース線に関する警告



### Warning

**This equipment must be grounded. Never defeat the ground conductor or operate the equipment in the absence of a suitably installed ground conductor. Contact the appropriate electrical inspection authority or an electrician if you are uncertain that suitable grounding is available.** Statement 1024

### Waarschuwing

**Deze apparatuur dient geaard te zijn. De aardingsleiding mag nooit buiten werking worden gesteld en de apparatuur mag nooit bediend worden zonder dat er een op de juiste wijze geïnstalleerde aardingsleiding aanwezig is. Neem contact op met de bevoegde instantie voor elektrische inspecties of met een elektricien als u er niet zeker van bent dat er voor passende aarding gezorgd is.**

### Varoitus

**Laitteiden on oltava maadoitettuja. Älä koskaan ohita maajohdinta tai käytä laitteita ilman oikein asennettua maajohdinta. Ota yhteys sähkötarkastusviranomaiseen tai sähköasentajaan, jos olet epävarma maadoituksen sopivuudesta.**

### Attention

**Cet équipement doit être mis à la masse. Ne jamais rendre inopérant le conducteur de masse ni utiliser l'équipement sans un conducteur de masse adéquatement installé. En cas de doute sur la mise à la masse appropriée disponible, s'adresser à l'organisme responsable de la sécurité électrique ou à un électricien.**

### Warnung

**Dieses Gerät muss geerdet sein. Auf keinen Fall den Erdungsleiter unwirksam machen oder das Gerät ohne einen sachgerecht installierten Erdungsleiter verwenden. Wenn Sie sich nicht sicher sind, ob eine sachgerechte Erdung vorhanden ist, wenden Sie sich an die zuständige Inspektionsbehörde oder einen Elektriker.**

### Avvertenza

**Questa apparecchiatura deve essere dotata di messa a terra. Non escludere mai il conduttore di protezione né usare l'apparecchiatura in assenza di un conduttore di protezione installato in modo corretto. Se non si è certi della disponibilità di un adeguato collegamento di messa a terra, richiedere un controllo elettrico presso le autorità competenti o rivolgersi a un elettricista.**

### Advarsel

**Dette utstyret må jordes. Omgå aldri jordingslederen og bruk aldri utstyret uten riktig montert jordingsleder. Ta kontakt med fagfolk innen elektrisk inspeksjon eller med en elektriker hvis du er usikker på om det finnes velegnet jordning.**

### Aviso

**Este equipamento deve ser aterrado. Nunca anule o fio terra nem opere o equipamento sem um aterramento adequadamente instalado. Em caso de dúvida com relação ao sistema de aterramento disponível, entre em contato com os serviços locais de inspeção elétrica ou um eletricista qualificado.**

## ■ アース線に関する警告

**¡Advertencia!** Este equipo debe estar conectado a tierra. No inhabilite el conductor de tierra ni haga funcionar el equipo si no hay un conductor de tierra instalado correctamente. Póngase en contacto con la autoridad correspondiente de inspección eléctrica o con un electricista si no está seguro de que haya una conexión a tierra adecuada.

**Varning!** Denna utrustning måste jordas. Koppla aldrig från jordledningen och använd aldrig utrustningen utan en på lämpligt sätt installerad jordledning. Om det föreligger osäkerhet huruvida lämplig jordning finns skall elektrisk besiktningsauktoritet eller elektriker kontaktas.

**Figyelem** A berendezés csak megfelelő védőföldeléssel működtethető. Ne iktassa ki a földelés csatlakozóját, és ne üzemeltesse a berendezést szabályosan felszerelt földelő vezeték nélkül! Ha nem biztos benne, hogy megfelelő földelés áll rendelkezésbe, forduljon a helyi elektromos hatóságokhoz vagy egy villanyszerelőhöz.

**Предупреждение** Данное устройство должно быть заземлено. Никогда не отключайте провод заземления и не пользуйтесь оборудованием при отсутствии правильно подключенного провода заземления. За сведениями об имеющихся возможностях заземления обратитесь к соответствующим контролирующим организациям по энергоснабжению или к инженеру-электрику.

**警告** 此设备必须接地。切勿使接地导体失效，或者在没有正确安装接地导体的情况下操作该设备。如果您不能肯定接地导体是否正发挥正常作用，请咨询有关电路检测方面的权威人士或电工。

**警告** この装置はアース接続する必要があります。アース導体を破損しないよう注意し、アース導体を正しく取り付けないまま装置を稼働させないでください。アース接続が適正であるかどうか分からない場合には、電気検査機関または電気技術者に相談してください。

**Figyelem** A berendezés csak megfelelő védőföldeléssel működtethető. Ne iktassa ki a földelés csatlakozóját, és ne üzemeltesse a berendezést szabályosan felszerelt földelő vezeték nélkül! Ha nem biztos benne, hogy megfelelő földelés áll rendelkezésbe, forduljon a helyi elektromos hatóságokhoz vagy egy villanyszerelőhöz.

**Предупреждение** Данное устройство должно быть заземлено. Никогда не отключайте провод заземления и не пользуйтесь оборудованием при отсутствии правильно подключенного провода заземления. За сведениями об имеющихся возможностях заземления обратитесь к соответствующим контролирующим организациям по энергоснабжению или к инженеру-электрику.

**警告** 此设备必须接地。切勿使接地导体失效，或者在没有正确安装接地导体的情况下操作该设备。如果您不能肯定接地导体是否正常发挥作用，请咨询有关电路检测方面的权威人士或电工。

**警告** この装置はアース接続する必要があります。アース導体を破損しないよう注意し、アース導体を正しく取り付けないまま装置を稼働させないでください。アース接続が適正であるかどうか分からない場合には、電気検査機関または電気技術者に相談してください。

## ラック マウントおよびラックでの作業時のシャーシに関する警告



### Warning

To prevent bodily injury when mounting or servicing this unit in a rack, you must take special precautions to ensure that the system remains stable. The following guidelines are provided to ensure your safety: Statement 1006

- This unit should be mounted at the bottom of the rack if it is the only unit in the rack.
- When mounting this unit in a partially filled rack, load the rack from the bottom to the top with the heaviest component at the bottom of the rack.
- If the rack is provided with stabilizing devices, install the stabilizers before mounting or servicing the unit in the rack.

### Waarschuwing

Om lichamelijk letsel te voorkomen wanneer u dit toestel in een rek monteert of het daar een servicebeurt geeft, moet u speciale voorzorgsmaatregelen nemen om ervoor te zorgen dat het toestel stabiel blijft. De onderstaande richtlijnen worden verstrekt om uw veiligheid te verzekeren:

- Dit toestel dient onderaan in het rek gemonteerd te worden als het toestel het enige in het rek is.
- Wanneer u dit toestel in een gedeeltelijk gevuld rek monteert, dient u het rek van onderen naar boven te laden met het zwaarste onderdeel onderaan in het rek.
- Als het rek voorzien is van stabiliseringshulpmiddelen, dient u de stabilisatoren te monteren voordat u het toestel in het rek monteert of het daar een servicebeurt geeft.

### Varoitus

Kun laite asetetaan telineeseen tai huolletaan sen ollessa telineessä, on noudatettava erityisiä varotoimia järjestelmän vakavuuden säilyttämiseksi, jotta vältetään loukkaantumiselta. Noudata seuraavia turvallisuusohjeita:

- Jos telineessä ei ole muita laitteita, aseta laite telineen alaosaan.
- Jos laite asetetaan osaksi täytettyyn telineeseen, aloita kuormittaminen sen alaosasta kaikkein raskaimmalla esineellä ja siirry sitten sen yläosaan.
- Jos telinettä varten on vakaimet, asenna ne ennen laitteen asettamista telineeseen tai sen huoltamista siinä.

## ■ ラック マウントおよびラックでの作業時のシャーシに関する警告

- Attention** Pour éviter toute blessure corporelle pendant les opérations de montage ou de réparation de cette unité en casier, il convient de prendre des précautions spéciales afin de maintenir la stabilité du système. Les directives ci-dessous sont destinées à assurer la protection du personnel:
- Si cette unité constitue la seule unité montée en casier, elle doit être placée dans le bas.
  - Si cette unité est montée dans un casier partiellement rempli, charger le casier de bas en haut en plaçant l'élément le plus lourd dans le bas.
  - Si le casier est équipé de dispositifs stabilisateurs, installer les stabilisateurs avant de monter ou de réparer l'unité en casier.
- Warnung** Zur Vermeidung von Körperverletzung beim Anbringen oder Warten dieser Einheit in einem Gestell müssen Sie besondere Vorkehrungen treffen, um sicherzustellen, daß das System stabil bleibt. Die folgenden Richtlinien sollen zur Gewährleistung Ihrer Sicherheit dienen:
- Wenn diese Einheit die einzige im Gestell ist, sollte sie unten im Gestell angebracht werden.
  - Bei Anbringung dieser Einheit in einem zum Teil gefüllten Gestell ist das Gestell von unten nach oben zu laden, wobei das schwerste Bauteil unten im Gestell anzubringen ist.
  - Wird das Gestell mit Stabilisierungszubehör geliefert, sind zuerst die Stabilisatoren zu installieren, bevor Sie die Einheit im Gestell anbringen oder sie warten.
- Avvertenza** Per evitare infortuni fisici durante il montaggio o la manutenzione di questa unità in un supporto, occorre osservare speciali precauzioni per garantire che il sistema rimanga stabile. Le seguenti direttive vengono fornite per garantire la sicurezza personale:
- Questa unità deve venire montata sul fondo del supporto, se si tratta dell' unica unità da montare nel supporto.
  - Quando questa unità viene montata in un supporto parzialmente pieno, caricare il supporto dal basso all' alto, con il componente più pesante sistemato sul fondo del supporto.
  - Se il supporto è dotato di dispositivi stabilizzanti, installare tali dispositivi prima di montare o di procedere alla manutenzione dell' unità nel supporto.
- Advarsel** Unngå fysiske skader under montering eller reparasjonsarbeid på denne enheten når den befinner seg i et kabinett. Vær nøye med at systemet er stabilt. Følgende retningslinjer er gitt for å verne om sikkerheten:
- Denne enheten bør monteres nederst i kabinettet hvis dette er den eneste enheten i kabinettet.
  - Ved montering av denne enheten i et kabinett som er delvis fylt, skal kabinettet lastes fra bunnen og opp med den tyngste komponenten nederst i kabinettet.
  - Hvis kabinettet er utstyrt med stabiliseringsutstyr, skal stabilisatorene installeres før montering eller utføring av reparasjonsarbeid på enheten i kabinettet.
- Aviso** Para se prevenir contra danos corporais ao montar ou reparar esta unidade numa estante, deverá tomar precauções especiais para se certificar de que o sistema possui um suporte estável. As seguintes directrizes ajudá-lo-ão a efectuar o seu trabalho com segurança:
- Esta unidade deverá ser montada na parte inferior da estante, caso seja esta a única unidade a ser montada.
  - Ao montar esta unidade numa estante parcialmente ocupada, coloque os itens mais pesados na parte inferior da estante, arrumando-os de baixo para cima.
  - Se a estante possuir um dispositivo de estabilização, instale-o antes de montar ou reparar a unidade.

- ¡Advertencia!** Para evitar lesiones durante el montaje de este equipo sobre un bastidor, o posteriormente durante su mantenimiento, se debe poner mucho cuidado en que el sistema quede bien estable. Para garantizar su seguridad, proceda según las siguientes instrucciones:
- Colocar el equipo en la parte inferior del bastidor, cuando sea la única unidad en el mismo.
  - Cuando este equipo se vaya a instalar en un bastidor parcialmente ocupado, comenzar la instalación desde la parte inferior hacia la superior colocando el equipo más pesado en la parte inferior.
  - Si el bastidor dispone de dispositivos estabilizadores, instalar éstos antes de montar o proceder al mantenimiento del equipo instalado en el bastidor.
- Varning!** För att undvika kroppsskada när du installerar eller utför underhållsarbete på denna enhet på en ställning måste du vidta särskilda försiktighetsåtgärder för att försäkra dig om att systemet står stadigt. Följande riktlinjer ges för att trygga din säkerhet:
- Om denna enhet är den enda enheten på ställningen skall den installeras längst ned på ställningen.
  - Om denna enhet installeras på en delvis fylld ställning skall ställningen fyllas nedifrån och upp, med de tyngsta enheterna längst ned på ställningen.
  - Om ställningen är försedd med stabiliseringsdon skall dessa monteras fast innan enheten installeras eller underhålls på ställningen.
- Figyelem** A készülék rackbe történő beszerelése és karbantartása során bekövetkező sérülések elkerülése végett speciális óvintézkedésekkel meg kell őrizni a rendszer stabilitását. A személyes biztonsága érdekében tartsa be a következő szabályokat:
- Ha a rackben csak ez az egy készülék található, a rack aljába kell beszerelni.
  - Ha nincs teljesen tele az a rack, amelybe beszerelik a készüléket, alulról fölfelé haladva tölts fel a racket úgy, hogy a legnehezebb készülék kerüljön a rack aljába.
  - Ha stabilizáló eszközök is tartoznak a rackhez, szerelje fel a stabilizátorokat, mielőtt beszerelné az egységet a rackbe, vagy karbantartást végezne rajta.
- Предупреждение** Во избежание травм при монтаже и обслуживании устройства в стойке следует принять особые меры предосторожности, чтобы убедиться в устойчивости оборудования. Для обеспечения безопасности работ необходимо соблюдать следующие правила.
- Если в стойке находится одно устройство, оно должно быть установлено в нижней части.
  - При монтаже устройств в частично заполненную стойку устанавливайте оборудование снизу вверх, размещая наиболее тяжелые устройства в нижней части.
  - Если стойка снабжена приспособлениями для стабилизации, их необходимо установить до начала монтажа или обслуживания оборудования.
- 警告** 为避免在机架中安装或维修该部件时使身体受伤，您必须采取特殊的预防措施确保系统固定。以下是确保安全的原则：
- 如果此部件是机架中唯一的部件，应将其安装在机架的底部。
  - 如果在部分装满的机架中安装此部件，请按从下往上的顺序安装各个部件，并且最重的组件应安装在机架的底部。
  - 如果机架配有固定装置，请先装好固定装置，然后再在机架中安装或维修部件。
- 警告** この装置をラックに設置したり保守作業を行ったりするときは、人身事故を防ぐため、システムが安定しているかどうかを十分に確認する必要があります。次の注意事項に従ってください。
- ラックにこの装置を単独で設置する場合は、ラックの一番下に設置します。
  - ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
  - ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。

## ■ ラック マウントおよびラックでの作業時のシャーシに関する警告

- 주의** 이 장치를 랙에 장착하거나 서비스할 때 신체 부상을 방지하려면, 시스템이 안정된 상태를 유지하도록 특별히 주의해야 합니다. 사용자의 안전을 위해 다음 지침 사항을 준수하십시오.
- 이 장치가 랙에 장착되는 유일한 것일 경우, 랙의 맨 아래 부분에 장착되어야 합니다.
  - 부분적으로 차 있는 랙에 이 장치를 장착할 경우, 가장 무거운 장치를 랙의 맨 아래 부분부터 차례로 장착하십시오.
  - 안정기가 랙과 함께 제공되는 경우, 이 안정기를 설치한 후 이 장치를 랙에 장착하거나 서비스하십시오.

**Aviso** Para evitar lesões corporais ao montar ou dar manutenção a esta unidade em um rack, é necessário tomar todas as precauções para garantir a estabilidade do sistema. As seguintes orientações são fornecidas para garantir a sua segurança:

- Se esta for a única unidade, ela deverá ser montada na parte inferior do rack.
- Ao montar esta unidade em um rack parcialmente preenchido, carregue-o de baixo para cima com o componente mais pesado em sua parte inferior.
- Se o rack contiver dispositivos estabilizadores, instale-os antes de montar ou dar manutenção à unidade existente.

**Advarsel** For at forhindre legemesbeskadigelse ved montering eller service af denne enhed i et rack, skal du sikre at systemet står stabilt. Følgende retningslinjer er også for din sikkerheds skyld:

- Enheden skal monteres i bunden af dit rack, hvis det er den eneste enhed i raket.
- Ved montering af denne enhed i et delvist fyldt rack, skal enhederne installeres fra bunden og opad med den tungeste enhed nederst.
- Hvis raket leveres med stabiliseringsenheder, skal disse installeres for enheden monteres eller serviceres i raket.

**تحذير**

لتجنب حدوث أي إصابات عند تركيب هذه الوحدة، يجب اتباع بعض الاحتياطات لضمان عمل النظام بشكل سليم. يتم ذكر الإرشادات التالية لضمان الأمان.

يجب تركيب هذه الوحدة في الجزء السفلي من الدولاب المتضمن قضبان إذا كانت هذه الوحدة هي الوحدة الوحيدة في الدولاب الذي يحتوي على قضبان.

عند تركيب هذه الوحدة في دولاب شبه ممتلئ، قم برفع الدولاب من الجزء السفلي لأعلى بحيث يكون الجزء الأثقل وزناً أسفل الدولاب.

إذا كان الدولاب المتضمن قضباناً يحتوي على أجهزة حفظ التوازن، قم بتثبيت هذه الأجهزة قبل تركيب الوحدة في الدولاب.

**Upozorenje**

Kako ne bi došlo do tjelesnih ozljeda kod postavljanja ili servisiranja uređaja na polici, potrebno je poduzeti mjere predostrožnosti kako bi sustav uvijek bio stabilan. Sigurnost se može osigurati poštivanjem sljedećih smjernica:

- Ovaj uređaj treba ugraditi na dno police, ukoliko je to jedini uređaj na polici.
- Kod ugradnje uređaja u policu na kojoj se već nalaze drugi uređaji, policu treba opremiti počevši od dna, te tako da se na dno stave najteži dijelovi.
- Ukoliko su na polici ugrađeni stabilizatori, njih montirajte prije ugradnje ili servisiranja uređaja na polici.



- Upozornění** Abyste předešli poranění osob při montáži nebo opravě zařízení v montážním rámu, musíte dodržovat zvláštní preventivní opatření pro zajištění udržení stability systému. Pro zajištění bezpečnosti obsluhy jsou určeny následující zásady:
- Pokud je toto zařízení jedinou jednotkou v montážním rámu, musí být namontováno na nejnižší místo rámu.
  - Pokud je toto zařízení montováno do částečně obsazeného montážního rámu, obsazujte montážní rám ve směru zdola nahoru tak, aby byla nejtěžší součást nejnižší.
  - Pokud je montážní rám vybaven stabilizačními zařízeními, nainstalujte stabilizátory ještě před montáží nebo opravou zařízení v montážním rámu.

- Προειδοποίηση** Για να αποφύγετε τον τραυματισμό κατά την τοποθέτηση ή τη συντήρηση αυτής της συσκευής σε αρθρωτό σύστημα, πρέπει να λάβετε ειδικές προφυλάξεις για να διασφαλίσετε τη σταθερότητα του συστήματος. Οι παρακάτω οδηγίες παρέχονται για να εξασφαλίσουν την ασφάλειά σας:
- Αυτή η συσκευή πρέπει να τοποθετείται στο κάτω μέρος του αρθρωτού συστήματος αν είναι η μοναδική συσκευή σε αυτό.
  - Όταν τοποθετείτε αυτήν τη συσκευή σε εν μέρει γεμάτο αρθρωτό σύστημα, τοποθετήστε συσκευές στο αρθρωτό σύστημα από κάτω προς τα επάνω, με τη βαρύτερη συσκευή στο κάτω μέρος του συστήματος.
  - Εάν το αρθρωτό σύστημα διαθέτει διατάξεις σταθεροποίησης, τοποθετήστε τους σταθεροποιητές πριν τοποθετήσετε ή συντηρήσετε τη συσκευή στο αρθρωτό σύστημα.

**אזהרה**

- כדי למנוע פציעה בעת הרכבת יחידה זו במעמד או טיפול בה, עליך לנקוט אמצעי זהירות מיוחדים כדי להבטיח את יציבות המערכת. הקווים המנחים הבאים ניתנים על מנת להבטיח את ביטחונך:
- אם יחידה זו היא יחידה בודדת במעמד, יש להרכיב את היחידה בחלקו התחתון של המעמד.
  - בעת הרכבת יחידה זו במעמד המלא בחלקו, טען את המעמד החל בחלקו התחתון וכלפי מעלה כאשר הרכיב הכבד ביותר נמצא בחלקו התחתון של המעמד.
  - אם המעמד מסופק עם התקני ייצוב, התקן את המייצבים לפני הרכבה היחידה במעמד או טיפול בה.

За да се не повредите кога го монтирате или го сервисирате уредот на полица, мора да бидете особено претпазливи за да ја обезбедите стабилноста на системот. Следите напатствија се дадени за да ја осигураат Вашата безбедност:

- Уредот треба да се монтира најдолу на полицата ако е единствен уред на полицата.
- Кога го монтирате уредот на делумно пополнета полица, полнете ја полицата од дното кон врвот со најтешката компонента на дното на полицата.
- Ако полицата има стабилизаторски делови, наместете ги стабилизаторите пред да го монтирате или сервисирате уредот на полицата.

## ■ ラック マウントおよびラックでの作業時のシャーシに関する警告

- Ostrzeżenie** Aby zapobiec urazom podczas montażu lub serwisowania tego urządzenia w stojaku, należy zastosować szczególne środki ostrożności w celu zapewnienia stabilności układu. Poniżej przedstawiono wskazówki, których przestrzeganie zapewni bezpieczeństwo:
- Jeśli urządzenie to jest jedynym urządzeniem w stojaku, powinno być zamontowane na dole.
  - W przypadku montażu urządzenia w częściowo zapełnionym stojaku należy instalować kolejne urządzenia od najniższego do najwyższego, przy czym element najcięższy powinien być zamontowany najniżej w stojaku.
  - Jeśli stojak jest wyposażony w elementy stabilizujące, należy zamontować stabilizatory przed przystąpieniem do montażu lub serwisowania urządzeń w stojaku.
- Upozornenie** Aby ste predišli poraneniu osôb pri montáži alebo oprave zariadenia v montážnom ráme, musíte dodržiavať zvláštne preventívne opatrenia na zaistenie udržania stability systému. Na zaistenie bezpečnosti obsluhy sú určené nasledujúce zásady:
- Pokiaľ je toto zariadenie jedinou jednotkou v montážnom ráme, musí byť namontované na najnižšie miesto v ráme.
  - Pokiaľ je toto zariadenie montované do čiastočne obsadeného montážneho rámu, obsadzujte montážny rám v smere zdola nahor tak, aby bola najťažšia súčasť najnižšie.
  - Pokiaľ je montážny rám vybavený stabilizačnými zariadeniami, nainštalujte stabilizátory ešte pred montážou alebo opravou zariadenia v montážnom ráme.
-

**Figyelem** A készülék rackbe történő beszerelése és karbantartása során bekövetkező sérülések elkerülése végett speciális óvintézkedésekkel meg kell őrizni a rendszer stabilitását. A személyes biztonsága érdekében tartsa be a következő szabályokat:

- Ha a rackben csak ez az egy készülék található, a rack aljába kell beszerelni.
- Ha nincs teljesen tele az a rack, amelybe beszerelik a készüléket, alulról fölfelé haladva töltsse fel a racket úgy, hogy a legnehezebb készülék kerüljön a rack aljába.
- Ha stabilizáló eszközök is tartoznak a rackhez, szerelje fel a stabilizátorokat, mielőtt beszerelné az egységet a rackbe, vagy karbantartást végezne rajta.

**Предупреждение** Во избежание травм при монтаже и обслуживании устройства в стойке следует принять особые меры предосторожности, чтобы убедиться в устойчивости оборудования. Для обеспечения безопасности работ необходимо соблюдать следующие правила.

- Если в стойке находится одно устройство, оно должно быть установлено в нижней части.
- При монтаже устройств в частично заполненную стойку устанавливайте оборудование снизу вверх, размещая наиболее тяжелые устройства в нижней части.
- Если стойка снабжена приспособлениями для стабилизации, их необходимо установить до начала монтажа или обслуживания оборудования.

**警告** 为避免在机架中安装或维修该部件时使身体受伤，您必须采取特殊的预防措施确保系统固定。以下是确保安全的原则：

- 如果此部件是机架中唯一的部件，应将其安装在机架的底部。
- 如果在部分装满的机架中安装此部件，请按从下往上的顺序安装各个部件，并且最重的组件应安装在机架的底部。
- 如果机架配有固定装置，请先装好固定装置，然后再在机架中安装或维修部件。

**警告** この装置をラックに設置したり保守作業を行ったりするときは、人身事故を防ぐため、システムが安定しているかどうかを十分に確認する必要があります。次の注意事項に従ってください。

- ラックにこの装置を単独で設置する場合は、ラックの一番下に設置します。
- ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。

## ■ ラック マウントおよびラックでの作業時のシャーシに関する警告

- 주의** 이 장치를 랙에 장착하거나 서비스할 때 신체 부상을 방지하려면, 시스템이 안정된 상태를 유지하도록 특별히 주의해야 합니다. 사용자의 안전을 위해 다음 지침 사항을 준수하십시오.
- 이 장치가 랙에 장착되는 유일한 것일 경우, 랙의 맨 아래 부분에 장착되어야 합니다.
  - 부분적으로 차 있는 랙에 이 장치를 장착할 경우, 가장 무거운 장치를 랙의 맨 아래 부분부터 차례로 장착하십시오.
  - 안정기가 랙과 함께 제공되는 경우, 이 안정기를 설치한 후 이 장치를 랙에 장착하거나 서비스하십시오.

- تحذير** لتجنب حدوث أي إصابات عند تركيب هذه الوحدة، يجب اتباع بعض الاحتياطات لضمان عمل النظام بشكل سليم. يتم ذكر الإرشادات التالية لضمان الأمان.
- يجب تركيب هذه الوحدة في الجزء السفلي من الدولاب المتضمن قضبان إذا كانت هذه الوحدة هي الوحدة الوحيدة في الدولاب الذي يحتوي على قضبان.
- عند تركيب هذه الوحدة في دولاب شبه ممتلئ، قم برفع الدولاب من الجزء السفلي لأعلى بحيث يكون الجزء الأثقل وزناً أسفل الدولاب.
- إذا كان الدولاب المتضمن قضباناً يحتوي على أجهزة حفظ التوازن، قم بتثبيت هذه الأجهزة قبل تركيب الوحدة في الدولاب.

- Upozorenje** Kako ne bi došlo do tjelesnih ozljeda kod postavljanja ili servisiranja uređaja na polici, potrebno je poduzeti mjere predostrožnosti kako bi sustav uvijek bio stabilan. Sigurnost se može osigurati poštivanjem sljedećih smjernica:
- Ovaj uređaj treba ugraditi na dno police, ukoliko je to jedini uređaj na polici.
  - Kod ugradnje uređaja u policu na kojoj se već nalaze drugi uređaji, policu treba opremiti počevši od dna, te tako da se na dno stave najteži dijelovi.
  - Ukoliko su na polici ugrađeni stabilizatori, njih montirajte prije ugradnje ili servisiranja uređaja na polici.

- Upozornění** Abyste předešli poranění osob při montáži nebo opravě zařízení v montážním rámu, musíte dodržovat zvláštní preventivní opatření pro zajištění udržení stability systému. Pro zajištění bezpečnosti obsluhy jsou určeny následující zásady:
- Pokud je toto zařízení jedinou jednotkou v montážním rámu, musí být namontováno na nejnižší místo rámu.
  - Pokud je toto zařízení montováno do částečně obsazeného montážního rámu, obsazujte montážní rám ve směru zdola nahoru tak, aby byla nejtěžší součást nejnižší.
  - Pokud je montážní rám vybaven stabilizačními zařízeními, nainstalujte stabilizátory ještě před montáží nebo opravou zařízení v montážním rámu.

Προειδοποίηση Για να αποφύγετε τον τραυματισμό κατά την τοποθέτηση ή τη συντήρηση αυτής της συσκευής σε αρθρωτό σύστημα, πρέπει να λάβετε ειδικές προφυλάξεις για να διασφαλίσετε τη σταθερότητα του συστήματος. Οι παρακάτω οδηγίες παρέχονται για να εξασφαλίσουν την ασφάλειά σας:

- Αυτή η συσκευή πρέπει να τοποθετείται στο κάτω μέρος του αρθρωτού συστήματος αν είναι η μοναδική συσκευή σε αυτό.
- Όταν τοποθετείτε αυτήν τη συσκευή σε εν μέρει γεμάτο αρθρωτό σύστημα, τοποθετήστε συσκευές στο αρθρωτό σύστημα από κάτω προς τα επάνω, με τη βαρύτερη συσκευή στο κάτω μέρος του συστήματος.
- Εάν το αρθρωτό σύστημα διαθέτει διατάξεις σταθεροποίησης, τοποθετήστε τους σταθεροποιητές πριν τοποθετήσετε ή συντηρήσετε τη συσκευή στο αρθρωτό σύστημα.

אזהרה כדי למנוע פציעה בעת הרכבת יחידה זו במעמד או טיפול בה, עליך לנקוט אמצעי זהירות מיוחדים כדי להבטיח את יציבות המערכת. הקווים המנחים הבאים ניתנים על מנת להבטיח את ביטחונך:

- אם יחידה זו היא יחידה בודדת במעמד, יש להרכיב את היחידה בחלקו התחתון של המעמד.
- בעת הרכבת יחידה זו במעמד המלא בחלקו, טען את המעמד החל בחלק התחתון וכלפי מעלה כאשר הרכיב הכבד ביותר נמצא בחלקו התחתון של המעמד.
- אם המעמד מסופק עם התקני ייצוב, התקן את המייצבים לפני הרכבה היחידה במעמד או טיפול בה.

За да се не повредите кога го монтирате или го сервисирате уредот на полица, мора да бидете особено претпазливи за да ја обезбедите стабилноста на системот. Следите напатствија се дадени за да ја осигураат Вашата безбедност:

- Уредот треба да се монтира најдолу на полицата ако е единствен уред на полицата.
- Кога го монтирате уредот на делумно пополнета полица, полнете ја полицата од дното кон врвот со најтешката компонента на дното на полицата.
- Ако полицата има стабилизаторски делови, наместете ги стабилизаторите пред да го монтирате или сервисирате уредот на полицата.

## ■ 装置の設置についての警告

- Ostrzeżenie** Aby zapobiec urazom podczas montażu lub serwisowania tego urządzenia w stojaku, należy zastosować szczególne środki ostrożności w celu zapewnienia stabilności układu. Poniżej przedstawiono wskazówki, których przestrzeganie zapewni bezpieczeństwo:
- Jeśli urządzenie to jest jedynym urządzeniem w stojaku, powinno być zamontowane na dole.
  - W przypadku montażu urządzenia w częściowo zapełnionym stojaku należy instalować kolejne urządzenia od najniższego do najwyższego, przy czym element najcięższy powinien być zamontowany najniżej w stojaku.
  - Jeśli stojak jest wyposażony w elementy stabilizujące, należy zamontować stabilizatory przed przystąpieniem do montażu lub serwisowania urządzeń w stojaku.
- Upozornenie** Aby ste predišli poraneniu osôb pri montáži alebo oprave zariadenia v montážnom ráme, musíte dodržiavať zvláštne preventívne opatrenia na zaistenie udržania stability systému. Na zaistenie bezpečnosti obsluhy sú určené nasledujúce zásady:
- Pokiaľ je toto zariadenie jedinou jednotkou v montážnom ráme, musí byť namontované na najnižšie miesto v ráme.
  - Pokiaľ je toto zariadenie montované do čiastočne obsadeného montážneho rámu, obsadzujte montážny rám v smere zdola nahor tak, aby bola najťažšia súčasť najnižšie.
  - Pokiaľ je montážny rám vybavený stabilizačnými zariadeniami, nainštalujte stabilizátory ešte pred montážou alebo opravou zariadenia v montážnom ráme.

## 装置の設置についての警告



### Warning

Only trained and qualified personnel should be allowed to install, replace, or service this equipment. Statement 1030

### Waarschuwing

Deze apparatuur mag alleen worden geïnstalleerd, vervangen of hersteld door bevoegd geschoold personeel.

### Varoitus

Tämän laitteen saa asentaa, vaihtaa tai huoltaa ainoastaan koulutettu ja laitteen tunteva henkilökunta.

### Attention

Il est vivement recommandé de confier l'installation, le remplacement et la maintenance de ces équipements à des personnels qualifiés et expérimentés.

### Warnung

Das Installieren, Ersetzen oder Bedienen dieser Ausrüstung sollte nur geschultem, qualifiziertem Personal gestattet werden.

Avvertenza	<b>Questo apparato può essere installato, sostituito o mantenuto unicamente da un personale competente.</b>
Advarsel	<b>Bare opplært og kvalifisert personell skal foreta installasjoner, utskiftninger eller service på dette utstyret.</b>
Aviso	<b>Apenas pessoal treinado e qualificado deve ser autorizado a instalar, substituir ou fazer a revisão deste equipamento.</b>
¡Advertencia!	<b>Solamente el personal calificado debe instalar, reemplazar o utilizar este equipo.</b>
Varning!	<b>Endast utbildad och kvalificerad personal bör få tillåtelse att installera, byta ut eller reparera denna utrustning.</b>
Figyelem	<b>A berendezést csak szakképzett személyek helyezhetik üzembe, cserélhetik és tarthatják karban.</b>
Предупреждение	Установку, замену и обслуживание этого оборудования может осуществлять только специально обученный квалифицированный персонал.
警告	只有经过培训且具有资格的人员才能进行此设备的安装、更换和维修。
警告	この装置の設置、交換、保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。
주의	교육을 받고 자격을 갖춘 사람만 이 장비를 설치, 교체, 또는 서비스를 수행해야 합니다.
Aviso	<b>Somente uma equipe treinada e qualificada tem permissão para instalar, substituir ou dar manutenção a este equipamento.</b>
Advarsel	<b>Kun uddannede personer må installere, udskifte komponenter i eller servicere dette udstyr.</b>
تحذير	يسمح للمنيين المتخصصين فقط بتركيب المعدة أو استبدالها أو إجراء الصيانة عليها.
Upozorenje	<b>Uređaj smije ugrađivati, mijenjati i servisirati samo za to obučeno i osposobljeno servisno osoblje.</b>
Upozornění	<b>Instalaci, výměnu nebo opravu tohoto zařízení smějí provádět pouze proškolené a kvalifikované osoby.</b>
Προειδοποίηση	Η τοποθέτηση, η αντικατάσταση και η συντήρηση του εξοπλισμού επιτρέπεται να γίνονται μόνο από καταρτισμένο προσωπικό με τα κατάλληλα προσόντα.
אזהרה	

## ■ 装置の設置についての警告

Местењето, заменувањето и сервисирањето на оваа опрема треба да му биде дозволено само на обучен и квалификуван персонал.

**Ostrzeżenie** Do instalacji, wymiany i serwisowania tych urządzeń mogą być dopuszczone wyłącznie osoby wykwalifikowane i przeszkolone.

**Upozornenie** Inštaláciu, výmenu alebo opravu tohto zariadenia smú vykonávať iba vyškolené a kvalifikované osoby.

**Figyelem** A berendezést csak szakképzett személyek helyezhetik üzembe, cserélhetik és tarthatják karban.

**Предупреждение** Установку, замену и обслуживание этого оборудования может осуществлять только специально обученный квалифицированный персонал.

**警告** 只有经过培训且具有资格的人员才能进行此设备的安装、更换和维修。

**警告** この装置の設置、交換、保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。

**주의** 교육을 받고 자격을 갖춘 사람만 이 장비를 설치, 교체, 또는 서비스를 수행해야 합니다.

**تحذير** يسمح للفنيين المتخصصين فقط بتركيب المعدة أو استبدالها أو إجراء الصيانة عليها.

**Upozorenje** Uređaj smije ugrađivati, mijenjati i servisirati samo za to obučeno i osposobljeno servisno osoblje.

**Upozornění** Instalaci, výměnu nebo opravu tohoto zařízení smějí provádět pouze proškolené a kvalifikované osoby.

**Προειδοποίηση** Η τοποθέτηση, η αντικατάσταση και η συντήρηση του εξοπλισμού επιτρέπεται να γίνονται μόνο από καταρτισμένο προσωπικό με τα κατάλληλα προσόντα.

התראה

Местењето, заменувањето и сервисирањето на оваа опрема треба да му биде дозволено само на обучен и квалификуван персонал.



Ostrzeżenie	Do instalacji, wymiany i serwisowania tych urządzeń mogą być dopuszczone wyłącznie osoby wykwalifikowane i przeszkolone.
Upozornenie	Inštaláciu, výmenu alebo opravu tohto zariadenia smú vykonávať iba vyškolené a kvalifikované osoby.

## バッテリーの取り扱い



### Warning

There is the danger of explosion if the battery is replaced incorrectly. Replace the battery only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions. Statement 1015

### Waarschuwing

Er is ontploffingsgevaar als de batterij verkeerd vervangen wordt. Vervang de batterij slechts met hetzelfde of een equivalent type dat door de fabrikant aanbevolen is. Gebruikte batterijen dienen overeenkomstig fabrieksvoorschriften weggegooid te worden.

### Varoitus

Räjähdyksen vaara, jos akku on vaihdettu väärään akkuun. Käytä vaihtamiseen ainoastaan samantai vastaavantyyppistä akkaa, joka on valmistajan suosittelema. Hävitä käytetyt akut valmistajan ohjeiden mukaan.

### Attention

Danger d'explosion si la pile n'est pas remplacée correctement. Ne la remplacer que par une pile de type semblable ou équivalent, recommandée par le fabricant. Jeter les piles usagées conformément aux instructions du fabricant.

### Warnung

Bei Einsetzen einer falschen Batterie besteht Explosionsgefahr. Ersetzen Sie die Batterie nur durch den gleichen oder vom Hersteller empfohlenen Batterietyp. Entsorgen Sie die benutzten Batterien nach den Anweisungen des Herstellers.

### Avvertenza

Pericolo di esplosione se la batteria non è installata correttamente. Sostituire solo con una di tipo uguale o equivalente, consigliata dal produttore. Eliminare le batterie usate secondo le istruzioni del produttore.

### Advarsel

Det kan være fare for eksplosjon hvis batteriet skiftes på feil måte. Skift kun med samme eller tilsvarende type som er anbefalt av produsenten. Kasser brukte batterier i henhold til produsentens instruksjoner.

### Aviso

Existe perigo de explosão se a bateria for substituída incorrectamente. Substitua a bateria por uma bateria igual ou de um tipo equivalente recomendado pelo fabricante. Destrua as baterias usadas conforme as instruções do fabricante.

### ¡Advertencia!

Existe peligro de explosión si la batería se reemplaza de manera incorrecta. Reemplazar la batería exclusivamente con el mismo tipo o el equivalente recomendado por el fabricante. Desechar las baterías gastadas según las instrucciones del fabricante.

## ■ バッテリーの取り扱い

**Varning!** Explosionsfara vid felaktigt batteribyte. Ersätt endast batteriet med samma batterityp som rekommenderas av tillverkaren eller motsvarande. Följ tillverkarens anvisningar vid kassering av använda batterier.

**Figyelem** Robbanásveszélyt idézhet elő, ha helytelenül cserélik ki az akkumulátort. Csak a gyártó által javasolttal megegyező vagy azzal egyenértékű típusúra cserélje ki az akkumulátort! A használt akkumulátorok kidobásakor tartsa be a gyártó előírásait!

**Предупреждение** При неправильной замене батареи возможен взрыв. Для замены следует использовать батарею того же или аналогичного типа, рекомендованного изготовителем. Утилизацию батареи необходимо производить в соответствии с указаниями изготовителя.

**警告** 電池更換不當會有爆炸危險。請只用同類電池或製造商推薦的功能相當的電池更換原有電池。請按製造商的說明處理廢舊電池。

**警告** 不適切なバッテリーに交換すると、爆発の危険性があります。製造元が推奨するものと同じまたは同等のバッテリーだけを使用してください。使用済みのバッテリーは、製造元が指示する方法に従って処分してください。

**警告** 電池替換錯誤可能會發生爆炸。僅限以製造商建議的同樣或同款電池替換，並遵照製造商的指示處理使用過的電池。

**Figyelem** Robbanásveszélyt idézhet elő, ha helytelenül cserélik ki az akkumulátort. Csak a gyártó által javasolttal megegyező vagy azzal egyenértékű típusúra cserélje ki az akkumulátort! A használt akkumulátorok kidobásakor tartsa be a gyártó előírásait!

**Предупреждение** При неправильной замене батареи возможен взрыв. Для замены следует использовать батарею того же или аналогичного типа, рекомендованного изготовителем. Утилизацию батареи необходимо производить в соответствии с указаниями изготовителя.

**警告** 電池更換不當會有爆炸危險。請只用同類電池或製造商推薦的功能相當的電池更換原有電池。請按製造商的說明處理廢舊電池。

**警告** 不適切なバッテリーに交換すると、爆発の危険性があります。製造元が推奨するものと同じまたは同等のバッテリーだけを使用してください。使用済みのバッテリーは、製造元が指示する方法に従って処分してください。

**警告** 電池替換錯誤可能會發生爆炸。僅限以製造商建議的同樣或同款電池替換，並遵照製造商的指示處理使用過的電池。

# 製品の廃棄処分


**Warning**

**Ultimate disposal of this product should be handled according to all national laws and regulations.**  
Statement 1040

**Waarschuwing**

**Het uiteindelijke wegruimen van dit product dient te geschieden in overeenstemming met alle nationale wetten en reglementen.**

**Varoitus**

**Tämä tuote on hävitettävä kansallisten lakien ja määräysten mukaisesti.**

**Attention**

**La mise au rebut ou le recyclage de ce produit sont généralement soumis à des lois et/ou directives de respect de l'environnement. Renseignez-vous auprès de l'organisme compétent.**

**Warnung**

**Die Entsorgung dieses Produkts sollte gemäß allen Bestimmungen und Gesetzen des Landes erfolgen.**

**Avvertenza**

**Lo smaltimento di questo prodotto deve essere eseguito secondo le leggi e regolazioni locali.**

**Advarsel**

**Endelig kassering av dette produktet skal være i henhold til alle relevante nasjonale lover og bestemmelser.**

**Aviso**

**Deitar fora este produto em conformidade com todas as leis e regulamentos nacionais.**

**¡Advertencia!**

**Al deshacerse por completo de este producto debe seguir todas las leyes y reglamentos nacionales.**

**Varning!**

**Vid deponering hanteras produkten enligt gällande lagar och bestämmelser.**

**Figyelem**

**A készülék végső elhelyezéséről az adott országban érvényes törvények és előírások szerint kell intézkedni.**

**Предупреждение**

**Окончательная установка данного изделия должна выполняться в соответствии со всеми региональными и местными правилами и нормами.**

**警告**

**本产品的废弃处理应根据所有国家的法律和规章进行。**

**警告**

**この製品を廃棄処分する際は、各国の法律および規制に従って取り扱ってください。**

**주의**

**시스템을 전원에 연결하기 전에 설치 지침을 읽으십시오.**

**Aviso**

**O descarte definitivo deste produto deve estar de acordo com todas as leis e regulamentações nacionais.**

**Advarsel**

**Endelig bortskaffelse af dette produkt skal ske i henhold til gældende love og regler.**

## ■ 製品の廃棄処分

تحذير عند التخلص من المنتج يجب اتباع القوانين والتشريعات المحلية.

**Upozorenje** Zbrinjavanje ovoga proizvoda u otpad treba provesti u skladu s važećim zakonima i odredbama.

**Upozornění** **Upozornění: Likvidace tohoto výrobku musí být provedena podle platných zákonů a předpisů.**

Προειδοποίηση Η τελική απόρριψη αυτού του προϊόντος πρέπει να γίνεται σύμφωνα με όλους τους εθνικούς νόμους και κανονισμούς.

אזהרה סילוק סופי של מוצר זה חייב להיות בהתאם להנחיות ולחוקי המדינה.

Крайното фрлање на овој производ треба да се изврши во согласност со сите национални закони и прописи.

**Ostrzeżenie** **Ostateczna likwidacja tego urządzenia po jego wycofaniu z eksploatacji powinna odbywać się zgodnie z przepisami krajowymi.**

**Upozornenie** **Upozornenie Likvidácia tohto výrobku musí byť vykonaná podľa platných zákonov a predpisov.**

**Opozorilo** **Uničenje izdelka, ki ni več uporaben, mora potekati po državnih zakonih in predpisih.**

警告 本產品的最終處理必須遵照國家/地區的所有法律與法規。

**Figyelem** **A készülék végső elhelyezéséről az adott országban érvényes törvények és előírások szerint kell intézkedni.**

**Предупреждение** Окончательная установка данного изделия должна выполняться в соответствии со всеми региональными и местными правилами и нормами.

警告 本產品的廢棄處理應根據所有國家的法律和規章進行。

警告 この製品を廃棄処分する際は、各国の法律および規制に従って取り扱ってください。

주의 해당 국가의 관련 법규 및 규정에 따라 이 장치를 폐기해야 합니다.

تحذير	عند التخلص من المنتج يجب اتباع القوانين والتشريعات المحلية.
Upozorenje	Zbrinjavanje ovoga proizvoda u otpad treba provesti u skladu s važećim zakonima i odredbama.
Upozornění	Upozornění: Likvidace tohoto výrobku musí být provedena podle platných zákonů a předpisů.
Προειδοποίηση	Η τελική απόρριψη αυτού του προϊόντος πρέπει να γίνεται σύμφωνα με όλους τους εθνικούς νόμους και κανονισμούς.
אזהרה	סילוק סופי של מוצר זה חייב להיות בהתאם להנחיות ולחוקי המדינה.
	Крайното фрлање на овој производ треба да се изврши во согласност со сите национални закони и прописи.
Ostrzeżenie	Ostateczna likwidacja tego urządzenia po jego wycofaniu z eksploatacji powinna odbywać się zgodnie z przepisami krajowymi.
Upozornenie	Upozornenie Likvidácia tohto výrobku musí byť vykonaná podľa platných zákonov a predpisov.
Opozorilo	Uničenje izdelka, ki ni več uporaben, mora potekati po državnih zakonih in predpisih.
警告	本產品的最終處理必須遵照國家/地區的所有法律與法規。

## 電源ケーブルおよび AC アダプタ

接続ケーブル、電源コード、ACアダプタなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。添付品・指定品以外の部品をご使用になると故障や動作不良、火災の原因となります。また、電気用品安全法により、当該法の認定（PSEとコードに表記）でなくUL認定（ULとコードに表記）の電源ケーブルは弊社が指定する製品以外の電気機器には使用できないためご注意ください。

ステートメント 371

■ 電源ケーブルおよび AC アダプタ



## 規制情報

この付録では、Cisco 3355 Mobility Services Engine の規制に関する情報を提供します。

### Cisco 3355 シリーズ Mobility Services Engine に関する FCC 規定について

この機器は、FCC 規定の Part 15 に基づくクラス A デジタルデバイスの制限に準拠していることがテストによって確認済みです。これらの制限は、商業環境で装置を使用したときに、干渉を防止する適切な保護を規定しています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、または放射する可能性があり、この装置のマニュアルに記載された指示に従って設置および使用しなかった場合、ラジオおよびテレビの受信障害が起こることがあります。住宅地でこの装置を使用すると、干渉を引き起こす可能性があります。その場合には、ユーザ側の負担で干渉防止措置を講じる必要があります。

### EU Directive 1999/5/EC (R&TTE Directive) に関する準拠宣言

この宣言は、Cisco Systems によって提供またはサポートされる構成（ソフトウェア、ファームウェア、およびハードウェアの組み合わせ）に対してのみ有効です。Cisco Systems によって提供またはサポートされるものではないソフトウェアまたはファームウェアを使用すると、対象機器が規制上の要件に準拠しなくなる可能性があります。

## ステートメント 191 : VCCI 準拠クラス A 警告 (日本)



Warning

This is a Class A product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference by Information Technology Equipment (VCCI). If this equipment is used in a domestic environment, radio disturbance may arise. When such trouble occurs, the user may be required to take corrective actions.

警告